

# 第3章

## 市民・事業者の 環境への取組状況

本章では、市民、事業者、民間団体、行政がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解し実行できるよう平成12年8月に設立された「かわごえ環境ネット」等の活動を紹介しています。

# かわごえ環境ネットの取組

## 1 川越市環境行動計画の推進状況

川越市では、平成19年3月に策定した「第二次川越市環境基本計画」に基づき、平成20年1月に「川越市環境行動計画『かわごえアジェンダ21』」を市民、事業者、民間団体及び市の4者によるパートナーシップ組織である「かわごえ環境ネット」との協働により策定し、これら4者の協働により、同計画を総合的かつ計画的に推進してきました。そして平成29年2月に「川越市環境行動計画」として内容を全面的に改定しました。

一方、平成28年3月、第二次環境基本計画の計画期間満了に伴い、市は「第三次川越市環境基本計画」を策定しています。第三次環境基本計画では、「日常生活や事業活動における環境の保全・創造のために取り組むべき具体的な行動を定めた川越市環境行動計画を、第三次計画と連動するように見直すとともに推進します。」と記載しています。新しい「川越市環境行動計画」は、2015年9月に国連が採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の理念を考慮しながら、第三次環境基本計画と連動して、将来の望ましい環境像の実現に向けた市民、事業者及び民間団体の行動計画として定めたものです。第三次環境基本計画と川越市環境行動計画の2つの計画が車の両輪となり、「第四次川越市総合計画」や関連計画と整合を図りながら、将来の望ましい環境像の実現を目指します。

この計画は、「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」、「環境に配慮した行動(チェックシート)」、「協働で取り組むプロジェクト」の3部構成になっています。

その中で、「環境に配慮した行動(チェックシート)」は、第三次環境基本計画における11の大施策(「1.地球温暖化対策の推進」、「2.循環型社会の構築」、「3.生物多様性の保全」、「4.貴重な緑の保全」、「5.多様な緑の創出・育成」、「6.大気環境の保全」、「7.水環境の保全」、「8.化学物質等の環境リスク対策」、「9.歴史と文化を生かした地域づくり」、「10.快適に暮らせるまちづくり」、「11.人づくり・ネットワークづくり」)に沿って分類した、各自が実施すべき40の行動を掲げています。また、チェックシートによって自身の行動の取組状況を得点で確認できるようになっています。このチェックシートの活用により、自身の行動を振り返るとともに、他の人と比較するなど、一人ひとりの環境に配慮した行動の広がりや継続的な促進が期待されます。

ここでは、「環境に配慮した行動(チェックシート)」の2023(令和5)年度の取組結果を報告するとともに、2017(平成29)年度からの傾向と比較して、本年度の取組状況を評価します。

### 「環境に配慮した行動(チェックシート)」に見る環境行動の取組状況

#### ●「環境に配慮した行動(チェックシート)」の実施概要

「環境に配慮した行動(チェックシート)」は、第三次環境基本計画における11の大施策におけるそれぞれ1～6つの行動、計40の行動について、日ごろの取組状況をそれぞれ表-1の5つの選択肢から選択して評価してもらうものです。

今年度の取組概要と全体集計を表-2に示します。2023(令和5)年度は、2024年1月4日から1月18日までに東洋大学総合情報学部の講義科目「CSR論」並びに「コミュニティデザイン論」の履修者96名(両方履修している学生は1名として数えて)のうち47名が回答しました(回答率49.0%)。また、2024年2月24日のかわごえ環境ネット主催による第22回かわごえ環境フォーラムの参加者のうち13名の回答があり、合計で60名の回答となりました。

表-1 チェックシート各項目の評価選択肢

| 点数 | 評価           |
|----|--------------|
| 5  | 常に／すでに実施している |
| 3  | かなり実施している    |
| 1  | ある程度実施している   |
| 0  | 実施していない      |
| n  | 該当しない／分からない  |

表-2 取組概要と全体集計（比較のために 2017～2022 年度の実施結果も表示）

| 年度        | 2017年度         | 2018年度         | 2019年度         | 2020年度               | 2021年度     | 2022年度         | 2023年度     |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------------|------------|----------------|------------|
| 実施時期      | 2～2月           | 6～2月           | 7～11月          | 7～3月                 | 5～2月       | 12～2月          | 1月         |
| 実施場所      | 講演会・イベント会場・大学生 | 講演会・イベント会場・大学生 | 講演会・イベント会場・大学生 | 大学生・川越市環境部職員・インターネット | 大学生・イベント会場 | 大学生・講演会・イベント会場 | 大学生・イベント会場 |
| 回答者延べ人数   | 163            | 310            | 290            | 332                  | 108        | 138            | 60         |
| 回答者内訳（年代） |                |                |                |                      |            |                |            |
| 20歳未満     | 12             | 113            | 88             | 148                  | 43         | 7              | 7          |
| 20歳代      | 61             | 46             | 46             | 102                  | 48         | 79             | 41         |
| 30歳代      | 2              | 6              | 10             | 17                   | 0          | 2              | 2          |
| 40歳代      | 5              | 13             | 26             | 27                   | 1          | 3              | 0          |
| 50歳代      | 8              | 18             | 4              | 19                   | 1          | 6              | 2          |
| 60歳代      | 31             | 17             | 7              | 12                   | 3          | 8              | 1          |
| 70歳以上     | 25             | 44             | 42             | 5                    | 6          | 20             | 4          |
| 無回答       | 19             | 54             | 67             | 2                    | 6          | 13             | 3          |
| 回答者内訳（性別） |                |                |                |                      |            |                |            |
| 男性        | 104            | 163            | 131            | 280                  | 82         | 97             | 46         |
| 女性        | 35             | 90             | 90             | 50                   | 20         | 27             | 11         |
| 無回答       | 24             | 57             | 69             | 2                    | 6          | 14             | 3          |
| 全体集計（得点率） |                |                |                |                      |            |                |            |
| 平均        | 38.2%          | 38.8%          | 40.3%          | 31.4%                | 33.6%      | 38.9%          | 36.0%      |
| 標準偏差      | 18.1%          | 17.9%          | 19.3%          | 13.6%                | 16.1%      | 19.4%          | 16.5%      |
| 最高        | 84.0%          | 100.0%         | 100.0%         | 100.0%               | 96.0%      | 100.0%         | 94.0%      |
| 最低        | 1.5%           | 8.2%           | 3.6%           | 6.7%                 | 3.5%       | 10.0%          | 10.3%      |

\*換算点：「該当しない項目である」評価の5点を分母から外して「分子/分母×100」を四捨五入した得点

## ●結果と考察

「環境に配慮した行動(チェックシート)」の各項目の平均点を平均得点の降順にしたものを表-3に、項目別の回答者割合を図-1に、7年間の平均得点の推移を、2018 年度と 2023 年度を比較して得点が向上した順に図-2に示します。

今年度の調査は学生の人数の割合が高く、市民全体の傾向がつかみにくなっていますが、各項目の取組に関する傾向は大きくは変わりません。ただ、新型コロナウイルスの影響が大きかった 2020 年度、2021 年度を経て、さまざまな活動がそれ以前と同様に戻っていると言えるものの、実地での活動は全般的に低調な状況が続いています。2023 年度の大学 2～4 年生は、コロナ禍で緊急事態宣言が発出したところに高校高校から大学において実地での活動や交流の制限を受けた世代であることも関係しているかもしれません。

一方で、長年の傾向として「しない」行動(たばこを吸わないようにしている、ごみのポイ捨てをしないようにしている、自転車は放置せず駐輪場を利用している、近所に迷惑な騒音・振動・悪臭を出さないように気をつけている過度な自動車の利用をひかえ、徒歩や自転車・公共交通機関を利用している)の実施率は高い状況となっており、積極的に行動するというよりは行動を控えるという環境配慮の傾向が読み取れます。

また、2023 年度と 2017 年度を比較すると、「7.買い物の際は買い物袋を持参している」「9.リユース品を購入または使用している」の上昇傾向が見られ、特に買い物袋の持参は 2022 年度よりは下がっているものの、半数近くの回答者が 5 点の「常に／すでに実施している」と回答しており、レジ袋の有料化をきっかけとして行動が定着したと考えられます。リユース品を購入または使用しているは、2017 年度の 40 項目中 28 位から徐々に順位を上げて、2023 年度は 15 位まで上昇しました。5 点「常に／すでに実施している」から 1 点「ある程度実施している」までを含めると 60 名中 43 名(71.7%)が実施しています。インターネットを経由した中古品の流

通、リユース品や古着屋などの店舗の充実も要因としてあると思いますが、リユース品に対する価値観の変化もあるのではないかと思います。

標準偏差(回答のばらつき)の大きさで見ると、「5.エコドライブを実践している」「7.買い物の際は買い物袋を持参している」が2.0、「13.生態系に被害を及ぼす外来種を放したり植えたりしないようにしている」「3.省エネ効果のある製品を購入または使用している」「8.生ごみの減量や自家処理をしている」「4.環境性能に優れた自動車を購入または使用している」「35.過度な自動車の利用をひかえ、徒歩や自転車・公共交通機関を利用している」が1.9と続いています。いずれも個人でできる行動となっており、環境配慮の意識や行動の差が大きいことを示しています。これらの行動がどのように環境に影響を与えているのかを周知して行動を誘発する工夫が求められます。

大施策「7.水環境の保全」の4項目「23.雨水利用をしている」「26.湧水地に関する調査や清掃などの保全活動に参加している」「25.河川浄化活動に参加している」「24.雨水を下水管に流さず地下に浸透させる設備(雨水浸透ます)を設置している」は下位を締めています。雨や水辺は私たちの身近な存在なのにあまり意識することなく過ごしていることが読み取れます。身近な取組事例を示すことで行動を促す必要があります。

「環境に配慮した行動(チェックシート)」は、川越市ホームページで入手可能です。チェックして自らの行動を振り返ってみてください。川越市ホームページで上記のキーワードを検索すると過去の川越市環境行動計画で使用されていたチェックシートの方が上位が検索されますので、「川越市環境行動計画(平成29年2月改定)」を検索して出てくるページにアクセスして、その中にある「環境に配慮した行動(チェックシート)」をダウンロードしてください。

表-3 項目別の平均点（2023 年度の平均点の降順）

| 順位 | No. | 大施策                | 環境に配慮した行動                                      | 5  | 3  | 1  | 0  | n  | 平均  | 標準偏差 |
|----|-----|--------------------|------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-----|------|
| 1  | 29  | 8. 化学物質等の環境リスク対策   | たばこを吸わないようにしている                                | 45 | 3  | 5  | 6  | 1  | 4.1 | 1.8  |
| 2  | 33  | 10. 快適に暮らせるまちづくり   | ごみのポイ捨てをしないようにしている                             | 41 | 11 | 5  | 3  | 0  | 4.1 | 1.6  |
| 3  | 34  | 10. 快適に暮らせるまちづくり   | 自転車は放置せず駐輪場を利用している                             | 38 | 8  | 10 | 0  | 4  | 4.0 | 1.6  |
| 3  | 10  | 2. 循環型社会の構築        | ごみは分別し、ごみ出しのルールを守っている                          | 40 | 11 | 7  | 2  | 0  | 4.0 | 1.6  |
| 5  | 20  | 6. 大気環境の保全         | 近所に迷惑な騒音・振動・悪臭を出さないように気をつけている                  | 31 | 16 | 10 | 3  | 0  | 3.6 | 1.7  |
| 6  | 35  | 10. 快適に暮らせるまちづくり   | 過度な自動車の利用をひかえ、徒歩や自転車・公共交通機関を利用している             | 31 | 10 | 13 | 4  | 2  | 3.4 | 1.9  |
| 7  | 7   | 2. 循環型社会の構築        | 買い物の際は買い物袋を持参している                              | 32 | 11 | 8  | 9  | 0  | 3.4 | 2.0  |
| 8  | 13  | 3. 生物多様性の保全        | 生態系に被害を及ぼす外来種を放したり捕えたりしないようにしている               | 22 | 9  | 19 | 5  | 5  | 2.8 | 1.9  |
| 9  | 36  | 10. 快適に暮らせるまちづくり   | 災害時に対する備えをしている                                 | 15 | 16 | 20 | 8  | 0  | 2.4 | 1.8  |
| 10 | 3   | 1. 地球温暖化対策の推進      | 省エネ効果のある製品を購入または使用している                         | 16 | 13 | 16 | 13 | 2  | 2.3 | 1.9  |
| 11 | 21  | 7. 水環境の保全          | 節水や水の再利用をしている                                  | 12 | 17 | 22 | 9  | 0  | 2.2 | 1.7  |
| 12 | 31  | 10. 快適に暮らせるまちづくり   | 景観をよくする行動をしている                                 | 9  | 19 | 15 | 14 | 3  | 2.1 | 1.7  |
| 13 | 5   | 1. 地球温暖化対策の推進      | エコドライブを実践している                                  | 12 | 5  | 15 | 12 | 16 | 2.0 | 2.0  |
| 14 | 1   | 1. 地球温暖化対策の推進      | 省エネルギーを実行している                                  | 9  | 15 | 29 | 6  | 1  | 2.0 | 1.6  |
| 15 | 9   | 2. 循環型社会の構築        | リユース品を購入または使用している                              | 10 | 13 | 20 | 14 | 3  | 1.9 | 1.8  |
| 16 | 17  | 4. 貴重な緑の保全         | 地元で生産された農産物を食べている                              | 11 | 11 | 23 | 14 | 1  | 1.9 | 1.8  |
| 17 | 8   | 2. 循環型社会の構築        | 生ごみの減量や自家処理をしている                               | 12 | 10 | 16 | 20 | 2  | 1.8 | 1.9  |
| 18 | 6   | 2. 循環型社会の構築        | 日用品を購入する際は環境配慮商品を選んでいる                         | 4  | 18 | 27 | 10 | 1  | 1.7 | 1.4  |
| 19 | 28  | 8. 化学物質等の環境リスク対策   | 合成洗剤でなく石鹸を利用するなど、化学物質の使用を控えるようにしている            | 7  | 15 | 14 | 20 | 4  | 1.7 | 1.7  |
| 20 | 16  | 4. 貴重な緑の保全         | 減農薬・堆肥利用の環境保全型農業の実施またはそのような農産物を消費している          | 9  | 8  | 19 | 18 | 6  | 1.6 | 1.8  |
| 21 | 27  | 8. 化学物質等の環境リスク対策   | ホームページや広報等を通じて、化学物質等の環境リスクに関する知識を身に付けるようにしている  | 7  | 11 | 24 | 17 | 1  | 1.6 | 1.6  |
| 22 | 4   | 1. 地球温暖化対策の推進      | 環境性能に優れた自動車を購入または使用している                        | 8  | 5  | 12 | 18 | 16 | 1.6 | 1.9  |
| 23 | 39  | 11. 人づくり・ネットワークづくり | 環境に関するアンケートに回答したり意見公募に応募したりしている                | 9  | 8  | 20 | 21 | 2  | 1.5 | 1.8  |
| 24 | 22  | 7. 水環境の保全          | 節水型機器を導入している                                   | 7  | 10 | 11 | 24 | 8  | 1.5 | 1.8  |
| 25 | 18  | 5. 多様な緑の創出・育成      | 生け垣の設置や、屋上・壁面（緑のカーテンを含む）、庭などの緑化をしている           | 7  | 10 | 11 | 28 | 4  | 1.4 | 1.8  |
| 26 | 32  | 10. 快適に暮らせるまちづくり   | クリーン川越市民運動（ごみゼロ運動）や自主的な地域環境美化活動に参加している         | 9  | 6  | 14 | 28 | 3  | 1.4 | 1.8  |
| 27 | 30  | 9. 歴史と文化を生かした地域づくり | 地域の歴史や文化に関心を持ち、郷土学習や文化財の保護活動への協力、まつり等への参加をしている | 4  | 7  | 24 | 24 | 1  | 1.1 | 1.4  |
| 28 | 14  | 3. 生物多様性の保全        | 河川・池沼などの水辺に親しみ、水質・生き物の調査や観察をしている               | 8  | 1  | 19 | 29 | 3  | 1.1 | 1.7  |
| 29 | 11  | 2. 循環型社会の構築        | ごみの減量・リサイクルに関するイベントや体験講座に参加している                | 5  | 6  | 15 | 29 | 5  | 1.1 | 1.6  |
| 30 | 12  | 3. 生物多様性の保全        | 野生の生き物に関心を持ち、生き物調査や観察会、講座に参加している               | 6  | 5  | 11 | 34 | 3  | 1.0 | 1.6  |
| 30 | 40  | 11. 人づくり・ネットワークづくり | 環境活動を広める活動をしている                                | 5  | 7  | 12 | 34 | 2  | 1.0 | 1.6  |
| 32 | 15  | 4. 貴重な緑の保全         | 樹林地の保全・管理活動に参加している                             | 7  | 3  | 11 | 37 | 2  | 0.9 | 1.7  |
| 33 | 38  | 11. 人づくり・ネットワークづくり | 講演会、シンポジウム、ワークショップ等の環境学習に参加している                | 3  | 8  | 16 | 32 | 1  | 0.9 | 1.4  |
| 34 | 37  | 11. 人づくり・ネットワークづくり | 環境施設や環境スポーツの見学会に参加している                         | 3  | 8  | 13 | 35 | 1  | 0.9 | 1.4  |
| 35 | 19  | 5. 多様な緑の創出・育成      | 花いっぱい運動や市民花壇など地域の緑化活動に参加している                   | 4  | 6  | 12 | 36 | 2  | 0.9 | 1.5  |
| 36 | 2   | 1. 地球温暖化対策の推進      | 太陽光、太陽熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーシステム・機器を購入または使用している   | 3  | 4  | 14 | 34 | 4  | 0.7 | 1.3  |
| 37 | 24  | 7. 水環境の保全          | 雨水を下水管に流さず地下に浸透させる設備（雨水浸透ます）を設置している            | 3  | 2  | 7  | 37 | 11 | 0.6 | 1.3  |
| 38 | 25  | 7. 水環境の保全          | 河川浄化活動に参加している                                  | 3  | 4  | 5  | 47 | 1  | 0.5 | 1.3  |
| 39 | 23  | 7. 水環境の保全          | 雨水利用をしている                                      | 2  | 3  | 11 | 41 | 3  | 0.5 | 1.1  |
| 39 | 26  | 7. 水環境の保全          | 湧水地に関する調査や清掃などの保全活動に参加している                     | 2  | 5  | 5  | 45 | 2  | 0.5 | 1.2  |

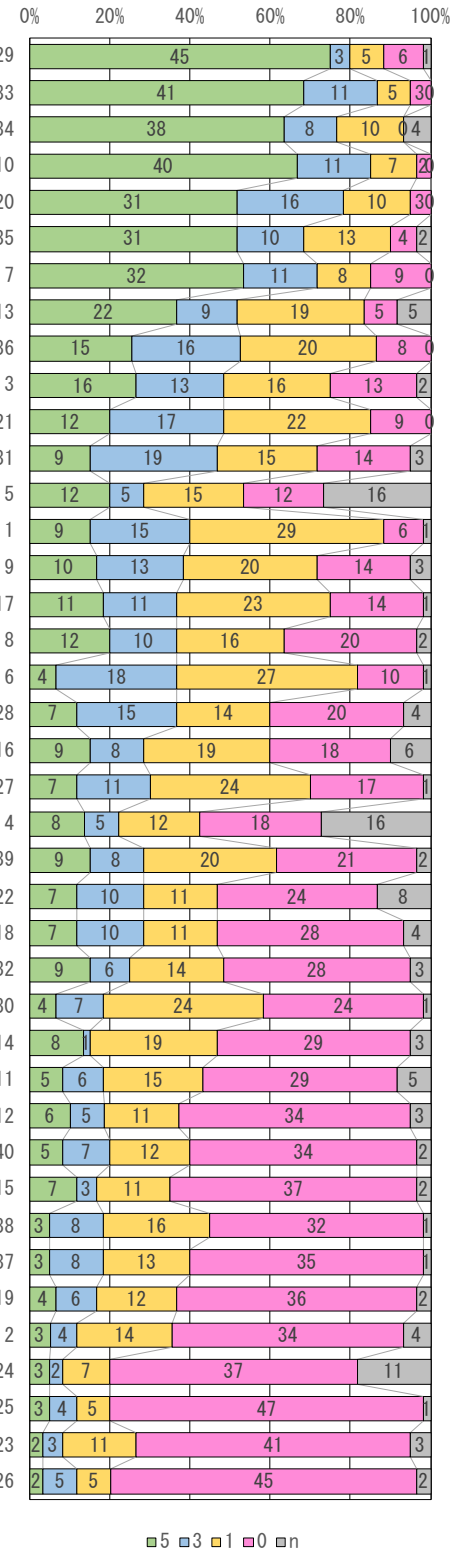


図-1 項目別回答者割合（2023 年度、平均点の降順）

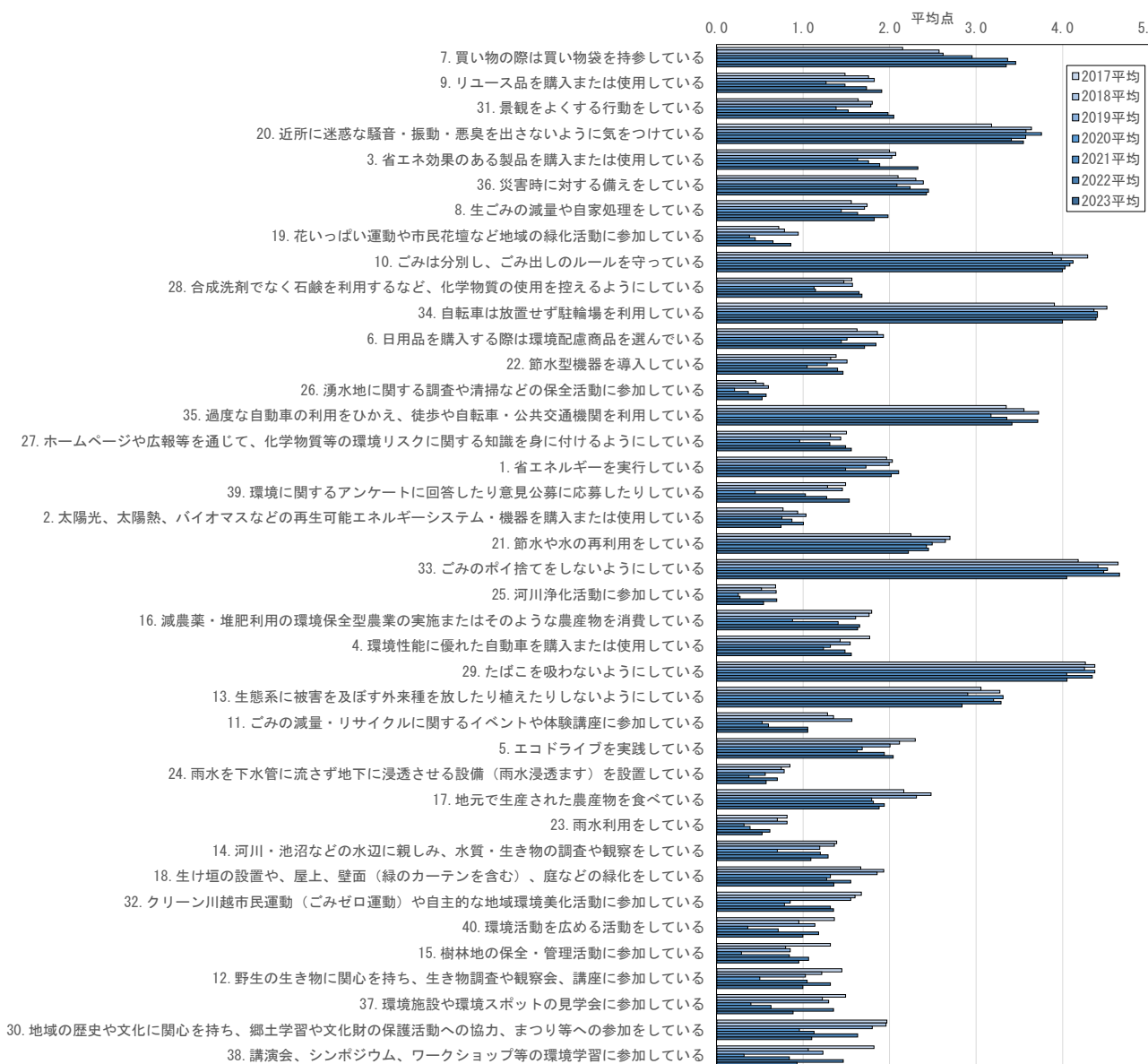
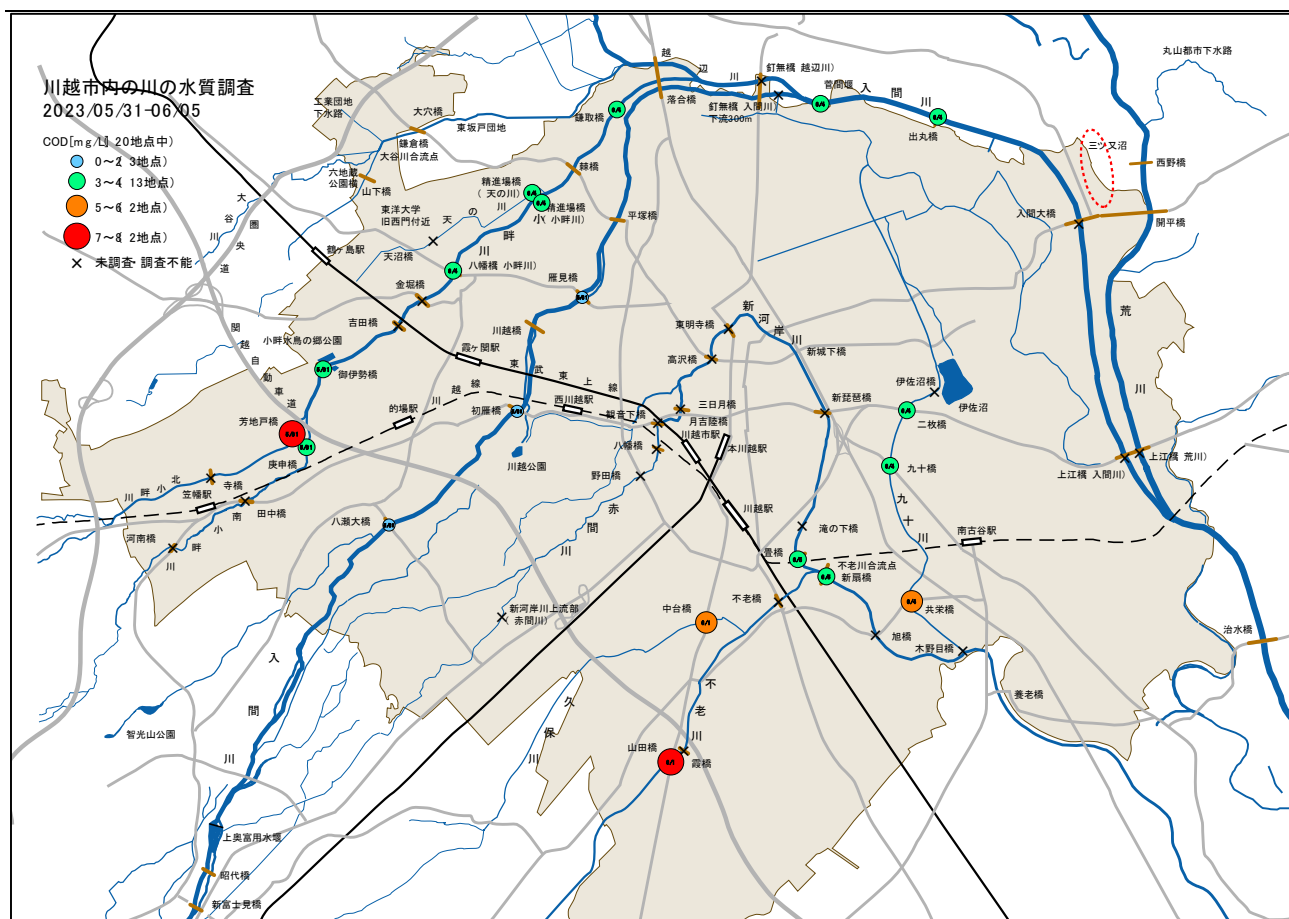


図-2 2017～2023 年度の各項目の平均得点の推移（2017 年から 2023 年にかけて平均点が向上した順）

## 2 川の一斉水質調査

毎年6月第1日曜日が全国統一実施日の「身近な水環境の一斉調査」に参加する形で、本会では2005年度から「川越市内の川の一斉水質調査」を行っています。19年目の2023年は全国一斉実施日であったの6月4日（日）に参加者の都合が合わず、5月31日（水）、6月1日（木）、4日（日）、5日（月）にかけて20地点の水質調査を実施しました。

6月2日から3日にかけて大雨の前後での調査となりました。COD（化学的酸素要求量）の区分で0～2mg/Lが3地点（2022年は1地点）、3～4mg/Lが13地点（同22地点）、5～6mg/Lが2地点（同0地点）、7～8mg/Lが2地点（同0地点）でした。値が小さいほど水質がよいと言えるもので、2022年はほとんどの地点で3～4mg/Lだったのですが、取水日が異なる影響もあって流域によってばらつきが大きい傾向でした。例年、小畔川や越辺川と合流する前の入間川は値が低く、不老川は値が高いか水がないために採水できないことが多いのですが、2023年はその傾向がおおよそ当てはまる状況でした。



CODの水質調査結果（2023年5月31日・6月1日・4日・5日午前採水・測定）



入間川八瀬大橋での採水の様子（5月31日）



入間川出丸橋での採水の様子（6月4日）

### 3 第22回かわごえ環境フォーラム

2024年2月24日(土)9:30~16:30にウェスタ川越活動室1・2において、「第22回かわごえ環境フォーラム」を開催し、午前の部は51名、午後の部は33名の参加者がありました。また、この行事に合わせて「かわごえ環境活動報告集」をフルカラー印刷で発行しました。同時に報告集のPDF版をかわごえ環境ネットホームページに掲載しました。本行事の開催にあたって、今回も川越市の後援、パイオニア株式会社川越事業所、武州ガス株式会社、株式会社環境総合研究所、初雁興業株式会社の4社の協賛をいただきました。

#### 午前の部 かわごえ環境活動報告会

午前の部「かわごえ環境報告会」では、かわごえ環境ネットからの報告も含めて10件の報告がありました。



#### (1) 田島悠莉(東洋大学総合情報学部)「ドローンの自律飛行による鳥害対策」

スマート農業の普及を妨げている初期費用を安くすること、それに鳥害の減少を目的に、100g 未満のドローンを使って鳥を検知した際の自律飛行方法を検討した。動体検知の手法や自律飛行システムのフローチャートを説明し、室内テスト飛行の様子が紹介された。

#### (2) 田沢 誉・小瀬博之(東洋大学総合情報学部)「持続可能な農業の現状と経営面から見る課題」

持続可能な農業はどのように行われているか、また収入面からみた持続可能な農業のあり方を考察。収入向上には農地拡大や大規模施設園芸農業の導入が有効。農業+αの事業も収益向上になる。さらに、農業理解の促進や仲介者の存在が持続可能な農業の発展と収入向上に重要な役割を果たすとのこと。

#### (3) 黒崎 豪・小瀬博之(東洋大学総合情報学部)「若者の森林保全への参加促進方法」

SDGs の項目の一つ「森林保全」に焦点を絞り、保全活動にどうすれば若者が参加するかをアンケートを主に検討。保全活動の参加者は年齢層が高く、若者が参加しづらく感じることや近い年代が集まる活動であることが重要だとわかったことから、参加のきっかけづくりについていくつかの例が紹介された

#### (4) 福原時夫(埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部)「埼玉県生態系保護協会支部 40 年の歩みと今後」

1983 年 8 月 7 日に川越支部が設立、これまでの支部の歩みを紹介。また、ご自身の支部長、妻が会計担当と、ご夫婦で活動してこられた功績の一つ、1986 年の今福(福原)雑木林でオジロビタキの発見についても紹介。ボランティア活動を通しての人との交流や視野の広がりなど、生涯現役を謳う日常を紹介いただいた。

#### (5) 丸岡巧美・成川正行・長谷川清(公益社団法人日本技術士会)「家電の節電と安全管理」

家電の節電方法や安全管理について解説。エアコンは電源を入れてから正常冷房になるまで 10 分以上かかるため、30 分以内の外出は運転を継続するとよい。電子レンジと IH 電磁調理器の安全使用は、電磁波の影響を予防するプロテクタなどを使ったり、心臓ペースメーカー装着者は本体から離れた方がよい等を解説。

#### (6) 松崎浩憲・丸岡巧美(公益社団法人日本技術士会)「ハウス栽培の省エネ・脱炭素化及び工場化に関する提案」

ハウス栽培は空調環境整備のため多大なエネルギーを消費しているが、その解決案を紹介。1階をウナギやウニなどの養殖。その湿気を2階のキノコ等太陽光を必要としない作物生産に使用し、2階から発生する二酸化炭素を3階のイチゴやトマトなどの水耕栽培に使用するといった3階型 EPS ドームによる農水産業の工業化について紹介。

#### (7) 藤岡重蔵・寺田かなみ(かわごえ里山イニシアチブ)「生物多様性有機農法がもたらす生きものの多様性」

かわごえ里山イニシアチブの 2023 年度新規に行った3つの活動を中心に紹介いただいた。1つめは、高校生のための探求学習としてコメ作りやマコモ栽培の実施。2つめは、日高田んぼ女子プロジェクトでの全面支援。3つめは埼玉未来大学の研修生を受入れ田んぼ体験を実施。また会員の寺田かなみさんからは、子どもたちに田園に生息する虫とふれ合う機会を作っていきたいとの思いもあり、本団体の会員になっていると紹介いただいた。

#### (8) 石川真(川越 Farmer's Market 代表)「発足 10 周年に寄せて 川越産農産物の展開・活動」

川越の農業が中心市街地の市民に知られていないことに驚き、川越の農業の魅力を知ってもらいたいとの思いから 2014 年にスタート。翌年、オープンしたてのウェスタ川越で川越市農政課と川越 Farmer's Market を開催。10 年前 30 人の来場者だったイベントは、2023 年には 100 店が集まり 18,000 人の来場者があるほどのイベントに発展。飲食店から地元野菜を使ったメニューを提供したいとの声が出るほど、市民の意識が変わった。そして今、新たな仕掛けを検討中。



### (9) 菊地三生(かわごえ環境ネット)「社会環境部会の活動報告」

かすみがせききた環境対話カフェや森フェス in 川越及び本会社会環境部会の活動概要の報告。

### (10) 賀登環(かわごえ環境ネット)「自然環境部会の活動報告」

本会自然環境部会の活動概要の報告及び環境保全の現状と課題の投げかけ。



(1) 田島悠莉さん



(2) (3) 小瀬博之さん



(4) 福原時夫さん



(5) 丸岡巧美さん



(6) 松崎浩憲さん



(7) 藤岡重蔵さん・寺田かなみさん



(8) 石川真さん



(9) 菊地三生さん



(10) 賀登環さん

## 午後の部 ワークショップ「持続可能な社会の川越 STYLE」

午後の部のワークショップは、霞ヶ関北自治会の環境部と本会の共催で実施した「かすみがせききた環境対話カフェ」の紹介(写真1)と「川越市環境基本計画の見直し意見交換会」で現在まとめている提言書の紹介を行いました。前回(2023年2月25日)のかわごえ環境フォーラムにおけるワークショップの後にどのような活動をしてきたかの共有をした後、32名の参加者とともに4つ(A～D)に分かれてグループワークを行いました。

### グループワークのテーマ「持続可能な社会の川越 STYLE」

前回の第21回かわごえ環境フォーラムにおいて、「2035年(2050年脱炭素を見据えて)にどんな未来になってほしいか」をグループワークしたときに、一つの形として「自立自給の川越」という姿を共有しました。今回のフォーラムでは、「自立自給の川越」をより膨らませて「川越らしさ」「川越 STYLE」と呼べる形にするためにどんなことができるか、各グループワークからアイデアを話していただきました。

### 各グループの発表

#### ●Aグループ(写真2・3)

「自立自給」とは「食料」「エネルギー」「経済」の3点が自立自給する川越とした。環境負荷を下げつつ経済も自立したい。一方、川越らしさの一つに、高校がたくさんあるが、今はそれぞれに特徴や専門性があるように感じないし、卒業したら都内へと人材が流出している。これら＜環境負荷を下げる＞、＜経済が自立する＞、＜人材流出を抑える＞ことを考えるアイデアとしては、カーボンゼロではなくカーボンマイナスに持っていき(エネ

ルギーの自給技術)、その分の排出権を売って獲る資金を川越の高校や教育に還元し、若者のよりよい人材育成に役立てるのはどうか。せっかくたくさんある高校をより個別に特徴づける教育をするといい。

#### ●Bグループ(写真4・5)

食の自立自給をめざしたい。農業に新規参入したいという声を聞く一方、農地の確保が難しいという壁がある。農林水産課で農地を貸す仕組みをつくって新規の農業就労者を増やすのはどうか。地産地消で余った食料を交易する、地産地消の集荷・配送システムをつくるなど。他にも地域で仕事ができるようになれば通勤時間が縮小することで時間的余裕が生まれ、その余暇で農作業が可能になるなど、仕事も食もお金も川越で循環するしくみにする。

#### ●Cグループ(写真6・7)

川越の中心街だけでなく、田園を知ってもらおうよう観光をパッケージ化し、獲た資金は川越の教育に還元する。その教育において、若い人たちに興味を持ってもらいアクションへとどうやって巻き込むかのしくみをつくる。小学校では森林での校外学習や、中学生、高校生の卒業間近となる時期に強制的あるいは単位制でボランティア参加を推進、かわごえ環境ネットが小・中・高校へ出前授業するなどして、若者に知ってもらう仕組みをつくるなど。また親への教育と同時に教育現場から子どもへの教育をする。

#### ●Dグループ(写真8・9)

伊佐沼の自然や(仮称)川越市森林公園計画地の緑は守っていくべき。一方で相続によって雑木林が減っている現実も見ていると、ボランティアに限界を感じることもある。緑の保全・雑木林の保全は法や条例で制限をかけられる。

#### 全体シェア

「自立自給の川越」とは、「食料・エネルギー・経済」が自立自給すること。

それを実現するためには、よい人材を輩出する「教育」が重要。森林での校外学習や出前講座、環境ボランティアの必修化などで自然や緑地の大切さに気づく教育だったり、企業が欲しが(る)る(AIのような)特化した技術教育や排出権取引に関する高等教育などで人材を育てる。

その人材育成教育への資金は、川越の田園も巡るパッケージ化した観光プログラムの売上だったり、排出権を売った資金を使う。川越の付加価値から生み出した資金を使って行う教育でよい人材を輩出すれば、その人材欲しさに企業誘致となり雇用創出や、自ら起業して地元が仕事場になれば、人材が川越から流出することなく、川越の経済発展に貢献するしくみができるのではないのでしょうか。

また、食料の自立自給のためには、農家(地産)と地元飲食店(地消)の集荷配送システムを作ったり農業就労希望者へ農地の貸し出しのしくみをつくるなどのアイデアが出ました。一方で相続などで減ってしまう農地や雑木林は、そうならないよう制限をかける条例をつくる。とはいえ、条例を作ることができるのは議員ですから、積極的に現状や重要性を伝え続けていくことも大事。

Aグループの発表の際、熊本県では半導体企業が誘致されたことで、半導体技術に特化した技術教育を高校で行い、就職に役立て、教育と雇用と経済が地域内で循環している事例が紹介されました。またサンフランシスコの企業がフロリダに移転したものの人材確保ができなかったため、人材確保ができるサンフランシスコに企業が戻ってきたというよい人材が企業誘致となった事例も紹介してくれました。

この事例を参考に、人材輩出の技術特化した教育が、新たな企業誘致や雇用創出となり、川越が職と暮らしの空間となれば人材流出することなく、人・もの・金が循環する自立した川越となるでしょう。そしてそんな川越には、緑の保全に向け声を出し、伝え続ける市民が行政を動かすことで、農地も放棄されることなく川越で作った農作物が川越で消費される、食も自給する川越を想像するとなんだか楽しい未来になりそうです。そんな未来は、時間に余裕ができ、ゆったりとおおらかな心で過ごす人が集う川越になっているかもしれませんね。

想像することはいくらでもできます。その想像する未来を共有するために、今を知り、伝え、思いを広げる先に、仲間ができてコミュニティができ、共に未来を創り上げていけるようかわごえ環境ネットとしてこれからもまた1年活動していきたいと思います。

2025年には、川越市環境基本計画が改定されます。望ましい川越の未来像に向けて2035年までの川越市の取り組む具体的な行動計画を作る作業を2023年からスタートし、引き続き2024年も改訂に向け市民の声が反映できるよう活動していきます。興味がある方はぜひ一緒に作業しましょう。

最後に、グループワークでファシリテーターを務めていただきました横山三枝子さん(Aグループ)、高澤裕考さん(Bグループ)、小川タ子さん(Cグループ)、賀登環さん(Dグループ)に御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。



写真1 「かすみがせききた環境対話カフェ」の紹介



写真2 Aグループの話し合い



写真3 Aグループの発表



写真4 Bグループの話し合い



写真5 Bグループの発表



写真6 Cグループの話し合い



写真7 Cグループの発表



写真8 Dグループの話し合い



写真9 Dグループの発表

#### 4 2023 森フェス in 川越

川越の南部、福原地区に「(仮称)川越市森林公園」計画地があり、江戸時代からの平地林や農地が広がっています。その森の魅力を市民の方に知っていただくために、2022年に続き2023年も11月18日(土)に実施しました。

参加者は2022年より少な目でしたが(スタッフ含め総勢60余名)、その分じっくりと体験できたようです。

メイン会場となる林地は前もって地主さんから借り受け、布芝居の読み聞かせ、プロのバイオリン演奏などを展開しました。また、森のギャラリーとしてボタニカルアート(写真1)、野鳥の写真などを飾りました。その他の



アクティビティは別の林地で展開しました。

## アクティビティ

「布芝居の読み聞かせ」(写真2)は、メイン会場で最初に参加者全員で「がんばれ大ちゃん」を鑑賞しました。福原小学校図書ボランティア有志の方々が作ったものです。

「ぶんぶんゴマ」(写真3)は、まず丸太を輪切りにします。それにインパクトドライバーで穴を2つ空けますが、重心をとらないとうまく回りません。そこらへんがコツです。糸を通して回します。みんなよく回りました。

「ドングリトトロ」(写真4)は、素朴で個性ある作品になり、思わずホッコリします。小さなお子さんが多かったのでスタッフも汗だくです。

「落ち葉のステンドグラス」(写真5・6)は、ネイチャーゲームの一種で、この季節の紅葉した落ち葉を黒い紙に挟むと、まるで本当のステンドグラスです。

以上の3つのブースは自然環境部会が担当しました。

「年輪パズル」(写真7)は、川越緑のサポーターが担当しました。こちらも小さなお子さんが丸太をノコでひくので気を使います。丸太を金づちで割ると「世界で一つだけ」のパズルができます。

## バイオリンと歌

今回もバイオリニストの長又允希さんに来ていただきました(写真8)。森で聞くバイオリンの音色はとても素敵です。「タイスの瞑想曲」の時は、小さなお子さんはうっとりとして眠ってしまいそうでした。バイオリンに合わせておなじみの歌を参加者で歌い、昼過ぎに散会しました。



写真1 ポタニカルアート



写真2 布芝居の読み聞かせ



写真3 ぶんぶんゴマ



写真4 ドングリトトロ



写真5 落ち葉のステンドグラス



写真6 落ち葉のステンドグラス



写真7 年輪パズル



写真8 バイオリン演奏

## 5 川越市環境計画見直し意見交換会

この年次報告書(かわごえの環境)の基となっている「第三次川越市環境基本計画」は、令和7年度(2025年度)が目標年度となっていて、今後、令和8年度(2026年度)を始点として令和17年度(2035年度)を目標年度とする「第四次川越市環境基本計画」の策定が予定されています。また、かわごえ環境ネットが「第三次川越市環境基本計画」と両輪として、川越市と協力して行動指針として作成した「川越市環境行動計画(平成29年2月)」も同じく令和7年度(2025年度)としており、川越市環境基本計画とともに新たな計画を策定する予定です。

かわごえ環境ネットでは、これらの計画と「川越市緑の基本計画(平成28年3月改定版)」も含めた内容を確認して、市民の目線で見直しを行う「川越市環境計画見直し意見交換会」を2023年7月26日から始め、2024年3月まで毎月1回ずつ、計9回の会議を開催しました。出席者は20名に及び、主に「第四次川越市環境基本計画の策定に向けた川越市への提言」の内容について検討を行いました。

## 6 社会環境部会の活動報告

2023 年の社会環境部会では、例年実施してきたクリーン活動に加え、新規活動として「環境対話カフェ」、自主上映会を実施しました。地域環境をよくしていきたいという市民活動も時代の流れから、過渡期にあると感じます。気候変動・脱炭素社会・生物多様性の保全など大きな環境課題に対して、私たちも新たな視点と柔軟な発想から、このまちでできることを展開していければと思います。



### 【2023 年度の社会環境部会の活動】

| No | 活動内容                                                                                                                   | 実施時期                                          |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| ①  | <b>【かすみがせききた 環境対話カフェ】</b><br>第1回 聞いてみよう 気候変動アクション<br>第2回 歩いてみよう 霞ヶ関北地区<br>第3回 考えてみよう 気候変動アクション<br>第4回 伝えてみよう 気候変動アクション | 6月11日(日)<br>7月9日(日)<br>9月10日(日)<br>10月22日(日)  |
| ②  | <b>【クリーン活動】</b><br>第1回 春の里山 自然観察&クリーン活動<br>第2回 夏の郊外クリーン活動<br>第3回 川越まつり会場事前クリーン活動<br>第4回 歳末まち美化活動                       | 4月29日(土)<br>7月17日(月)<br>10月7日(土)<br>12月24日(日) |
| ③  | <b>【上映会】「蘇れ生命の力 ～小児科医 真弓 定夫～」</b> 映画上映会                                                                                | 2月3日(土)                                       |

### 【コラム】社会と環境について思うこと

(22) 農からはじまる暮らしの循環 都市の循環

[2023 年 1・2 月号 No. 189]

(23) 私の体感から地球温暖化を考える

[2023 年 5・6 月号 No. 191]

(24) 蔵造りの「壁」 見方と見え方

[2023 年 7・8 月号 No. 192]

(25) いのちと環境～7 大先を考えて～

[2023 年 9・10 月号 No. 193]

(26) 虫の声が聞かれない

[2023 年 11・12 月号 No. 194]

### 【コラム】かわごえ環境 STYLE

(9) 川越 Farmer's Market 発足 10 周年を迎えて

[2024 年 1・2 月号 No. 185]



## 【活動報告】2023 かすみがせききた環境対話カフェ

### かすみがせききた環境対話カフェ（第1回、6月11日開催）

広報 かわごえ環境ネット 2023年7・8月号 No.192

#### 開催趣旨

6月11日（日）に霞ヶ関北自治会環境部とかわごえ環境ネットの共催で「かすみがせききた環境対話カフェ」を実施しました。

地域環境対話活動とする本イベントでは、地域での交流から環境問題への理解を深める機会を設け、地域ぐるみでできる気候変動対策を考えていこうというイベントです。全4回で構成されており、今回は「聞いてみよう！気候変動アクション」という気候変動についての学びの回で、参加者は24名、見学者7名にお越しいただきました。

#### 第1回の実施結果

前半は、川越在住ノンフィクションライター／環境ジャーナリストの高橋真樹さんをお招きし、気候変動とは、私たちができることは何か、などをわかりやすくお話しいただきました。後半は、2グループに分かれ、グループ対話を行いました。参加者の自己紹介、環境問題で気になっていることを話したり、講師の高橋さんへ質問をしたりと、時間はあっという間に

過ぎていきました。

参加された方からは「環境のことをさらに自分ごととして考え、実行するきっかけとなりました。」「とても楽しく学習できた。」「子ども達にも聞いてもらえてよかった。」などの感想がありました。また、ゴミとエネルギーの問題は身近な話題でもあったためか、1つのグループでは高橋さんへの多くの質問があり、参加者同士の対話もはずみました。お話を聞いて知識を得るだけでなく、会話することで得られる気づきや疑問も多くありました。

#### 第2回以降の予定

同じ地区に住む様々な年代の方が「気候変動」という1つのキーワードのもと、交流を深めた「かすみがせききた環境対話カフェ」。7月開催予定の第2回は、第1回で参加者の方から出た意見や質問にも視点を置きながら霞ヶ関北を歩く「歩いてみよう！気候変動アクション」を実施予定です。また、第3回、第4回では、自治会でできる気候変動アクションのアイデアを出し、どうしたら具体化できるかを参加者みんなで考えていく予定です。（実行委員会代表：小川夕子）



グループワークの様子



高橋真樹さんの講演会



## かすみがせきた環境対話カフェ（第2回、7月9日開催）

### 開催趣旨

7月9日（日）に霞ヶ関北自治会環境部とかわごえ環境ネット共催の第2回「かすみがせきた環境対話カフェ」を実施しました。地域環境対話活動とする本イベントは全4回で構成されており、今回は「歩いてみよう！霞ヶ関北まち歩き」、実際に自分たちの住んでいる地域を歩き、環境について参加者同士、意見を交わしました。参加者は15名、見学者は3名でした。

### 第2回実施結果

当日、雨がぱらついていたので、急きょ予定を変更して、はじめは室内で前回の振り返り、そしてまち歩きで使用する資料を見ながら、グループ対話を行いました。

その後、予報通り雨が止んだところで、1時間程度まち歩きをしました。まずは霞ヶ関北の大きな特徴の1つである「小畔川」に沿って歩きました。どんなごみが多いのかを観察したり、川に詳しい参加者の方がいて盛り上がりたり、もっと地域で活用できないか、という意見が出たりしました。そこから「かほく運動公園」、児童遊園の特有の並び方を見て、「角栄商店街」、住宅街にあるソーラーパネルや空き家の様子を見るなどして、参加者それぞれの視点から意見を交わ

広報 かわごえ環境ネット 2023年9・10月号 No.193  
してまち歩きを終えました。

参加された方からは「人の住まない家が手入れされずに放置されているのを見て、対応が必要と感じました。」「長年住まわれた方のこの地区の話を聞くことができとてもよかった。」「みなさんが気を付けて周りの掃除をしているのだとつくづく感じた。」などの感想がありました。

### 第3回の予定

9月10日（日）のかすみがせきた環境対話カフェは「考えてみよう！気候変動アクション」を実施予定。第1回、第2回の経験を元に個人でできること、地域でできることをグループ対話を通して考えていきます。（小川夕子）



住宅街を歩く



小畔川沿いを歩く

## かすみがせきた環境対話カフェ（第3回、9月10日開催）

### 開催趣旨

9月10日（日）に霞ヶ関北自治会環境部とかわごえ環境ネット共催の第3回「かすみがせきた環境対話カフェ」を実施しました。地域環境対話活動とする本イベントは全4回で構成されており、今回は「考えてみよう！気候変動アクション」の回でした。第1回では気候変動について知る、第2回では自分たちの住んでいるまちを実際に見て意見を交換する、そして今回は具体

広報 かわごえ環境ネット 2023年11・12月号 No.194  
的に何ができるかを考える回でした。参加者は11名、見学者は2名でした。

### 第3回実施結果

前回から2か月空いていたため、最初は1回目、2回目の振り返りをしました。参加して知り得たこと、当日の写真、みなさんの参加した時の感想などをスライドを使って共有していただきました。それをふまえて、個人でできること、自治会でできること、川越市でできることを今、5年、

10 年、100 年と時間軸にのせて対話していきま  
した。また、参加者同士で意見を出し合い、自治  
会の環境スローガンも合わせて考えていきまし  
た。100 年後を想像することはなかなか難しく、  
主に今からできること、近い将来できることの  
意見が多く出ました。自治会での集まりであつ  
たため、自治会でできることの可能性について  
の意見も活発に交わされました。具体的にはこ  
の地域の環境をよくする見守り隊を作る、循環  
型のごみ処理システムの構築という意見がまと  
められました。まずは未来に向けて子どもも大人  
も輝ける地域にしていきたいという意見が多  
く出るグループもありました。



環境活動についての話し合い

この日は、第 1 回で講演していただいた高橋  
真樹さんも駆けつけてくださり、「子ども、孫、  
その先の世代のことも考えていくことが大切」  
とのお話しをしてくださいました。

#### 第 4 回の予定

10 月開催予定のかすみがせきた環境対話カフ  
ェは、今回の企画の最終回、「伝えてみよう!気候  
変動アクション」です。今までの対話をもとに、  
霞ヶ関北自治会環境部の方から今後につながる  
提案が発表される予定です。(小川タ子)

### かすみがせきた環境対話カフェ (第 4 回、10 月 22 日開催)

#### 開催趣旨

10 月 22 日(日)に霞ヶ関北自治会環境部とか  
わごえ環境ネット共催の第 4 回「かすみがせき  
きた環境対話カフェ」を実施しました。地域環境対  
話活動とする本イベントは全 4 回で構成されてお  
り、今回は「伝えてみよう!気候変動アクション」  
の回でした。1 回目は気候変動について学ぶ「聞  
いてみよう!」の回、2 回目は自分たちの地域を実  
際に“環境”の視点で見えていく「歩いてみよう!」  
の回、3 回目は“環境”についてできることをグ  
ループで対話していく「考えてみよう!」の回でし  
た。第 4 回は 1~3 回までの振り返りと、霞ヶ  
関北自治会環境部の方から今後、実際にできる取  
組を参加者、そして自治会長さんへ発表されまし  
た。参加者は 5 名、見学者は 7 名でした。

#### 第 4 回実施結果

広報 かわごえ環境ネット 2024 年 1・2 月号 No. 195

今回が最終回となるため、全体の振り返りを、  
参加者とともにスライドを見たり、その時の写真  
を並べたりしながら行いました。その都度、どん  
なことを感じたのか、行動の変化があったかを対  
話していききました。「その後、ごみの出し方に変化  
があった」「この地区をもっと元気にしたい」など、  
参加者の方から積極的に発言がありました。霞  
ヶ関北環境部の方からは、「地域お助け隊を作る」  
「公式 LINE を作成、活用する」「環境に関する勉  
強会の実施」と具体的な発表が、自治会会員であ  
る参加者、そして自治会長さんの前で行われまし  
た。**今後の予定**

この対話をもとに、霞ヶ関北自治会では今後、具  
体的な活動が実施される予定です。来年度以降の  
活動を楽しみにするとともに、その活動を全面的  
にサポートしていきます。(小川タ子)



## 【活動報告】2023 年度 クリーン活動

### 【報告】春の里山 自然観察&クリーン活動（4月29日）

広報 かわごえ環境ネット 2023 年 7・8 月号 No.192

#### 春の里山自然観察&クリーン活動

2019 年から始まった「春の里山自然観察&クリーン活動」。5 回目の今年は 4 月 29 日（土）昭和の日に（仮称）川越市森林公園計画地で実施、新型コロナウイルスも収束に向かいつつあり、感染防止対策も参加者に任せながらの活動でした。

参加者は 9 時 30 分に集合、市民の方々 16 名、スタッフ 8 名、合計 24 名でした。参加者の年齢は 17 歳～75 歳と幅広い年齢構成で、元気さやレスポンスの高さを感じさせる高齢の方には脱帽でした。

活動に先立ち、下見を 4 月 28 日（金）に行ったところ、ゴミがほとんどありませんでしたので、主に植物観察を行っていただきました。

ゴミが少なくなった理由は、かわごえ環境ネット自然環境部会や「木びちっこの会」等の保全活動と周辺市民の協力により、森がよりきれいに保たれている成果と考えられます。

参加者は、かわごえ環境ネットが 2021 年に改訂した、新訂版「川越の自然」を使用しての観察、A 組は稗島さん、B 組は横山さんの案内と説明、新緑の森の中を、キンラン、ギンランを見ながら植物観察をしました。説明が初心者にもわかりやすい内容で参加者に好評でした。

11 時 30 分、集めたごみ（わずか）を川越南文化会館（ジョイフル）で分別し、集合写真を撮り 11 時 45 分に解散しました。なお、年々春が早まっており、2024 年は 4 月 21 日（日）ごろに開催予定です。（菊地三生）

#### 高校生の自然観察ガイド（同時開催）

4 月 29 日（土）の午前中、高校生の「（仮称）川越市森林公園」計画地での観察会が行われました。2 月にかわごえ環境ネット主催の「かわごえ環境フォーラム」があり、そこに参加された川越女子高校の理科担当の先生とのご縁がきっかけです。当日は川越女子高生物部の生徒さん 10 名、越谷北高の生物部生徒さん 20 名が見えたので 2 グループにわけ、理事長の小瀬、自然環境部会の賀登がご案内しました。

生物部の生徒さんだけになかなか反応がいいです。「森のさんぽ道」を進みながら、元は農用林だった雑木林の履歴、現在の植生などの説明も熱心にメモを取りながら聞いてくれました。中間点あたりの「第 2 武蔵野ふれあいの森」で自由観察にしますと、一気にパワー全開で地面にしゃがみ込み昆虫をさがす生徒、林床の草本に注目する生徒・・・この時を待っていましたと言わんばかりの光景でした。越谷北高の生徒さんは生物部でも昆虫が対象のようで、いでたちも、捕虫網、サンプル



高校生の自然観察ガイド集合写真



集合写真



生徒の観察の様子



森の中で

瓶とすでに道中でかなりゲットしている様子。

アカマツの樹皮をめくりながら、「こんなところにラクダムシがいるかもしれませんよ。」と私が話すと「もう、捕っています。」と越谷北高の生徒さん。ホントにビックリです。自然環境部会のメンバーが何年もここで生き物調査をしていてまだお

目にかかったことがないのに！ここまでの道中で、ヒノキの樹皮から捕ったそうです。

生徒さんたちの若いエネルギーに未来を感じました。やがて彼らが自然の成り立ち、生物多様性などに思い至ったとき、何らかのアクションを起こしてくれるのではないかと。（賀登環）

## 【報告】夏の郊外クリーン活動（7月17日開催）

広報 かわごえ環境ネット 2023年9・10月号 No.193

海の日（7月17日）の7月17日（月）、猛烈な暑さの中、時間を短縮してクリーン活動を行いました。

### 開催経過

9:30に川越市民聖苑やすらぎのさと駐車場に集合した参加者は39名。参加者は、市民、かわごえ環境ネット会員、武州ガスとその関係会社の方々、大東建託川越支社の方々など高校生～80歳代と幅広い年齢層でした。

クリーン活動は、小瀬理事長の挨拶から始まり、このクリーン活動を当初より支えてきた渡辺利衛さんからのゴミ収集の仕方やコース説明のあと、5つのコースに分かれてクリーン活動を開始。収集したゴミは、やすらぎのさとゴミ集積所で分別し解散しました。参加いただきました皆様ありがとうございました。

### おわりに

当日の予想最高気温は37℃。熱中症対策のため、集合受付時には冷たい飲料を配り、クリーン活動の時間を予定の1時間半から30分ほどに短縮（コース距離を短縮）しました。また、今回のクリーン活動から、コースリーダーを含むスタッフのみがかわごえ環境ネットの緑色の腕章をつけて活動をしました。これにより、これまで全員着用していたゼッケンがなくなったことも、熱中症対策になったと思います。

次回のクリーン活動は、10月7日（土）開催予定です（9:30本川越駅前交番付近集合）。多くの方のご参加お待ちしております。

（飯島希）



活動前の参加者集合写真



活動の様子

## 【報告】秋のクリーン活動「川越まつり会場事前クリーン活動」（10月7日）

広報 かわごえ環境ネット 2023年11・12月号 No.194

川越まつりを7日後に控えた10月7日（土）、まつり会場の事前クリーン活動を行いました。

9:30に本川越駅前交番付近に集合した参加者

は総勢59名。参加者は、市民、かわごえ環境ネット会員、第一生命保険株式会社川越支社、パイオニア株式会社の方々など1歳～80歳代と幅広



い年齢層でした。

クリーン活動は、増田知久副理事長（社会環境部会代表）のあいさつから始まり、渡辺利衛さんからのごみ収集の注意点やコース説明の後、5つのコース（菓子屋横丁コース、大正浪漫コース、クレアモールコース、旧埼玉りそな銀行川越支店コース、八幡神社コース）に分かれクリーン活動を開始。収集したごみは中央公民館で分別し11:30に解散しました。参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。

今年の参加者は昨年の2倍。ベビーカーを押し



活動前の参加者集合写真

ながら参加する人や、親と参加する小・中学生、自ら申し込みをして参加してくれた高校生や大学生など、次世代の参加者も多くいて、この活動だからこそその出会いが毎回楽しいクリーン活動でした。

次回は、12月24日（日）に歳末まち美化活動を行います。9:30 本川越交番付近集合です。多くの方のご参加をお待ちしております。（飯島希）



一番街でのクリーン活動

#### 【報告】歳末まち美化活動（12月24日）

2003年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動、2023年は12月24日（日）に実施しました。

9時30分に本川越駅前交番前に集合、参加者は58名。市民、かわごえ環境ネット会員、武州ガスと関係会社の方々、東洋大学の学生などの幅広い年代の参加者でした。



あいさつ



活動前の参加者集合写真



分別の様子

## 7 自然環境部会の活動

年次報告 2024 年 12 月 2023 年度（令和 5 年度 2023 年 4 月～2024 年 3 月）

### 川越の自然の調査・保全再生活動

#### （１）「（仮称）川越市森林公園」計画地での活動

武蔵野の雑木林は川越の原風景ともいえる自然遺産ですが、現在次々と失われています。市内に 1996 年には 510ha ありましたが、2021 年は 323ha になり、年平均 8ha の減少で計算上はあと 40 年ほどでゼロになります。どこで下げ止まりになるのでしょうか。

2019 年頃からナラ枯れが広がり始め、林内に夏なのに葉が茶色になったコナラを見るようになりました。ナラ枯れは急速に広範囲に広がっていき市内の殆どの雑木林で確認されています。川越だけでなく近隣の平地林でも同じような状況です。戦後ほとんど循環的な手入れをしないでここまできた平地林が、カシノナガキクイムシの格好のターゲットになったのです。今後、里山の風景がどうなるか危惧されます。

三芳・所沢・川越の畑作地で営まれている循環型農業（「武蔵野の落ち葉堆肥農法」）が 2023 年 7 月 6 日に「世界農業遺産」として認定されました。

川越の福原地区に「（仮称）川越市森林公園」計画地として 38ha ほどのまとまった雑木林（一部畑地）があります。平成 16 年に公園化の基本構想が出されましたが、まだ実現にはいたっていません。その内 10ha 余りの公有地化されたエリアを中心に「森のさんぽ道」が敷設され、多くの市民が散歩に訪れています。ここは 500 種以上もの動植物の生息が確認されている、川越でも第一級の在来種遺伝子プールです。

実はここは川越の循環型農業のメッカともいえる平地林で、今も農用林として活用されているエリアがあります。環境ネット自然環境部会ではこのすばらしい雑木林を広く市民に知っていただくため、また次世代に引き継ぐために自然観察会の開催や、調査・保全・再生活動を行っています。

「森を知り、森を楽しみ、森を育てる」を合言葉に毎月第 2 と第 4 の月曜日の午前中、20 名前後の会員がボランティアに参加しています。2023 年は 20 回活動し、延べ 317 名が参加しました。

#### 「（仮称）川越市森林公園」計画地 調査・保全グループ

| 2023 年活動計画 実績 |    |         |                 | 参加者 |
|---------------|----|---------|-----------------|-----|
| 1月            | 9日 | 話し合い・観察 | 来年度の計画          | 19  |
|               | 23 | 保全活動    | キンランの森手入れ       | 17  |
| 2月            | 13 | 保全活動    | 雨天につき林内歩き       | 12  |
|               | 27 | 保全活動    | 巣箱の点検・取り換え      | 20  |
| 3月            | 13 | 保全活動    | 雨天につき林内歩き       | 13  |
|               | 27 | 保全活動    | キンランの森手入れ、早春の花  | 18  |
| 4月            | 10 | 調査・観察   | スマレ、樹木の新緑       | 21  |
|               | 24 | 調査・観察   | キンランなど希少種調査     | 19  |
| 5月            | 8  | 調査・観察   | 雨模様で林内歩き        | 11  |
|               | 22 | 調査・観察   | 希少種調査           | 18  |
| 6月            | 12 | 調査・観察   | ノヤマトンボ、キノコなど    | 3   |
|               | 26 | 調査・観察   | 昆虫調査 講師：佐々木氏    | 19  |
| 7月            | 10 | 保全活動    | 「武蔵野ふれあいの森」草刈り  | 17  |
|               | 24 | 保全活動    | 「武蔵野ふれあいの森」草刈り  | 15  |
| 9月            | 11 | 調査・観察   | 秋の七草・全植物調査      | 15  |
|               | 25 | 調査・観察   | 昆虫調査 講師：佐々木氏    | 17  |
| 10月           | 9  | 保全活動    | 雨中止             |     |
|               | 23 | 保全活動    | 草刈り、リンドウ・センブリ確認 | 20  |
| 11月           | 13 | 保全活動    | 森フェス片付け、        | 17  |
|               | 27 | 保全活動    | 森フェス準備          | 11  |
| 12月           | 11 | 保全活動    | キンランの森手入れ       | 15  |
| 合計            |    |         |                 | 317 |
| 1月            | 8  | 話し合い・観察 |                 |     |
|               | 22 | 保全活動    | 未定 状況を見て        |     |



## ①冬の雑木林

1月9日が年明け最初の活動日でした。この日は例年、一年間の予定を話し合います。その後、初冬の林内を巡ります。この時期の雑木林は静まり返っていて、樹々も葉を落とし梢が青空に映えています。林床は落ち葉で埋まっています。一昨年から顕著になったナラ枯れ被害木をかなり見かけるようになりました。林の衰えがこのような形で出てきました。

また、この時期に野鳥の巣箱の営巣確認と掃除をしています。冬はシジュウカラ、エナガ、アオゲラなど野鳥の声がよく通ります。20数個掛けた巣箱を下ろして、営巣の有無を確認し掃除をして、また春の繁殖に備えます。例年7割くらいの確率で利用されています。巣箱はシジュウカラが利用するのですが、あの小さな鳥が巣箱の中に20グラム以上の巣材を運ぶのです。コケ、獣毛、中には毛糸のようなものも集めています。

市が業者に依頼し、ナラ枯れ木の伐採が進行しています。重機を用いて径が70cmもあるコナラが切り株になってしまいました。園路に近い危険なナラ枯れ木の40本以上が伐採されました。



巣箱の掛け替え

## ②春の雑木林

3月末頃から林は一気に新緑に塗りかえられます。温暖化の影響で開花の進行が例年より一週間くらい早まっていた。ウワミズザクラは2005年には4月20日ころ満開でしたが2023年は4月10日にはもう満開を過ぎていました。キンランも4月10日にはつぼみをつけ、例年より2週間近く速い進行でした。4月中旬からは希少種の調査で、キンラン、ギンラン、クチナシグサ、イチヤクソウなど分布調査をしています。樹木もこの時期、花を咲かせます。ヤマザクラはそこかしこにあり、林に明かりが灯ったようです。ウワミズザクラは白いブラシのような花で樹木全体が白っぽく見えます。美しい花々は足早に咲き終わり、5月末頃には林はすっかり濃い緑になります。4月29日に高校生の自然観察ガイドをしました。



キンラン



4/29 越谷北高の生徒さん



4/29 川越女子高の生徒さんも

### ③夏の雑木林

夏は生き物にとって成長、繁殖の大切な時期です。樹木はいつぱいに葉を広げ、空を見上げてもギャップはありません。足元には昆虫、クモ、トカゲの類がうごめいています。2023年の夏は7月初旬から連日35度以上の猛暑が続き、8月に入っても9月になっても猛暑が続き、観測史上最も暑い夏でした。雨の少ない夏で雑木林はカラカラになりました。キノコもこの年は少な目でした。

夏場の雑木林の手入れは旺盛な草との格闘です。この林は外来種はあまり入り込んでいませんが、アズマネザサなどは刈っても刈っても繁茂しています。在来の希少種を刈らない様、手刈りのあと動力で刈払いしています。

7月9日には「キノコの観察会」、8月5日には「虫の観察会」が市民の方を対象に行われました。



6/26 昆虫調査



6/15 トトロの森散策



6/26 マダラスズ



6/26 オオカマキリ



6/26 ヒナバッタ(NT1)



6/26 オンブバッタ

### ④秋の雑木林

11月になると樹木の実次第に色づいてきて、ムラサキシキブの紫、ガマズミの赤が色をそえます。これらの実は野鳥たちの貴重な食べ物になります。そして種を落とすので樹木の散布役をしていることになります。ウグイスカグラやガマズミはこの雑木林にかなりの本数がありますが、ほとんどが鳥達の仕事でしょう。手入れの際に簡単に切られてしまいがちですが、生き物の多様性のため残す手入れをしています。この頃リンドウが林床を飾ります。薄紫色の釣鐘のような花を見ると、信州かどこかの高原にいるような気分です。身近にある美しきスポットです。

ここで環境ネットが昨年市制100周年記念行事として「森フェス in 川越 2022」を行いました。今年、規模を縮小して11月18日(土)に「森フェス in 川越 2023」を実施しました。参加者が親子25名あまり、スタッフ40名のイベントでした。この森のすばらしさを市民に発信しました。詳しくは全体事業の項をご覧ください。

自然環境部会のメンバーが毎月この地の生き物調査を続けて15年ほどになります。植物、動物(昆虫、クモ、爬虫類、哺乳類など)に関するデータは市のデータベース構築に登録して将来的に利活用できるようにまとめています。





11/18 森フェス メイン会場



森フェス ドングリトロ



森フェス 音楽の調べ

## ⑤ 保全・再生活動

「(仮称)川越市森林公園」計画地の公有地の保全再生活動は18年目になります。当初はジャングル状態になった放棄地を手入していましたが、最近は生物多様性保全のため、植生を調査しながらの手入れをしています。このような課程で新たに絶滅危惧種が見つかったり、在来のおドリコソウなど希少種の再生につながったりしています。

夏場は旺盛に育った林床の草刈りをしています。トイレのある「第2武蔵野ふれあいの森」は散歩する市民も多く人気のコースです。手刈り班と動力班で丁寧に草刈りをしています。

2023年の秋は台風は少なく、倒木や枝折れの被害はあまり出ませんでした。雑木林にとって悲劇的な現象が確認されました。ナラ枯れの被害がかなり及んでいたのです。全国的には様々な場所で発生していますが、ついにこの雑木林でも50本以上の被害木がでました。防護対策は難しく、被害木は伐倒し持ち出すしかない状況です。公有地は行政が対応、民有地はボランティアが伐倒していますが、大変な労力と費用です。

12月はシュンランやイチヤクソウなど植生豊かなゾーンの手入れに取り掛かりました。樹木も40種くらいあり、将来高木層になるヤマザクラ、アオハダ、アカシデの幼樹は選択的に残しています。また、野鳥のために身のなる木、ウグイスカグラ、ガマズミ、ウメモドキなども残すようにしています。



7/8 数年ぶりに姿を見せたマヤラン



7/24 第2武蔵野ふれあいの森の手入れ



イチヤクソウの清楚な姿

## 調査の記録

自然環境部会のメンバーが毎月この地の生き物調査を続けて、植物、動物（昆虫、クモ、爬虫類、哺乳類など）に関するデータはかなり蓄積されてきています。その内、植物に関してのデータを牧野彰吾氏による「自然度環境評価」という“アプリ”にインプットしてみました。

| 記号                                              | 国・県ランク等                            | 国・県ランク等略称  | 出現数 | 在来係数 | 在来点 | 外来係数 | 外来点 |
|-------------------------------------------------|------------------------------------|------------|-----|------|-----|------|-----|
| EX                                              | 環境省絶滅                              | [全絶滅・EX]   |     | 2    |     |      |     |
| EW                                              | 環境省野生絶滅                            | [全野滅・EW]   |     | 2    |     |      |     |
| CR                                              | 環境省絶滅危惧ⅠA類                         | [全絶危ⅠA・CR] |     | 2    |     |      |     |
| EN                                              | 環境省絶滅危惧ⅠB類                         | [全絶危ⅠB・EN] |     | 2    |     |      |     |
| VU                                              | 環境省絶滅危惧Ⅱ類                          | [全絶危Ⅱ・VU]  | 3   | 2    | 6   |      |     |
| NT                                              | 環境省準絶滅危惧                           | [全準絶・NT]   | 2   | 2    | 4   |      |     |
| DD                                              | 環境省情報不足                            | [全情不・DD]   |     | 2    |     |      |     |
| LP                                              | 環境省地域個体群                           | [全地個・LP]   |     | 2    |     |      |     |
| CE                                              | 環境省絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)                   | [全絶危Ⅰ・CE]  |     | 2    |     |      |     |
| EX                                              | 埼玉県絶滅                              | [埼絶滅・EX]   |     | 2    |     |      |     |
| EW                                              | 埼玉県野生絶滅                            | [埼野滅・EW]   |     | 2    |     |      |     |
| CR                                              | 埼玉県絶滅危惧ⅠA類                         | [埼絶危ⅠA・CR] |     | 2    |     |      |     |
| EN                                              | 埼玉県絶滅危惧ⅠB類                         | [埼絶危ⅠB・EN] | 2   | 2    | 4   |      |     |
| VU                                              | 埼玉県絶滅危惧Ⅱ類                          | [埼絶危Ⅱ・VU]  | 5   | 2    | 10  |      |     |
| NT                                              | 埼玉県準絶滅危惧                           | [埼準絶・NT]   | 3   | 2    | 6   |      |     |
| DD                                              | 埼玉県情報不足                            | [埼情不・DD]   | 2   | 2    | 4   |      |     |
| LP                                              | 埼玉県地域個体群                           | [埼地個・LP]   |     | 2    |     |      |     |
| CE                                              | 埼玉県絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)                   | [埼絶危Ⅰ・CE]  |     | 2    |     |      |     |
|                                                 | 在来・大径木加算                           | [在来大径木]    |     | 2    |     |      |     |
|                                                 | 埼玉県絶滅危惧追加候補                        | [県追加候補]    |     | 1    |     |      |     |
|                                                 | 在来自生の日本固有種                         | [在来固有]     | 20  | 1    | 20  |      |     |
|                                                 | 史前帰化種                              | [史前帰化]     | 38  | 1    | 38  |      |     |
|                                                 | 在来種の雑種                             | [在来雑種]     |     | 1    |     |      |     |
|                                                 | 在来一般種 <small>上記すべてに該当しないもの</small> | ランクなし      | 187 | 1    | 187 |      |     |
| 外1                                              | 特定外来・緊急対策外来種                       | [外来1特緊]    |     |      |     | 4    |     |
| 外2                                              | 特定外来・重点対策外来種                       | [外来2特重]    |     |      |     | 4    |     |
| 外3                                              | 緊急対策外来種                            | [外来3緊急]    |     |      |     | 2    |     |
| 外4                                              | 重点対策外来種                            | [外来4重点]    | 6   |      |     | 2    | 12  |
| 外5                                              | その他の総合対策外来種                        | [外来5他]     | 8   |      |     | 2    | 16  |
| 外6                                              | 産業管理外来種                            | [外来6産管]    | 1   |      |     | 2    | 2   |
| 外7                                              | 外来生物一般                             | [外来7]      | 27  |      |     | 1    | 27  |
| 外8                                              | 植栽樹木・庭木                            | [植栽]       | 19  |      |     | 1    | 19  |
| 外8                                              | 栽培作物・園芸種                           | [栽培]       | 2   |      |     | 1    | 2   |
| 外8                                              | 逸出種                                | [逸出]       | 9   |      |     | 1    | 9   |
| ※                                               | 外来・大径木加算                           | [外来大径木]    |     |      |     | 1    |     |
| ※                                               | 植栽等の日本固有種                          | [外来固有]     | 5   |      |     | 0    | 0   |
| ※                                               | 外来種の雑種                             | [外来雑種]     |     |      |     | 0    |     |
| [ ] [ ] ダブリ <small>(日本固有種や環境省レッド種等の重複分)</small> |                                    |            | 11  | 在来種数 | 256 | 外来種数 | 72  |
| 全出現種数 <small>出現数の合計からダブリ数を差し引いたもの</small>       |                                    |            | 328 | 在来点計 | 279 | 外来点計 | 87  |

※外来種はすべて外1～外8の評価によりすでに加点してあるので当該項目の外来係数は在来種に比べて-1となる。

|                                                       |               |      |        |   |        |
|-------------------------------------------------------|---------------|------|--------|---|--------|
| 在来評価(%表示)                                             | 在来点/(在来点+外来点) | 76%  | 在来指数a  | 3 | 自然環境評価 |
| 植物種多様性評価(小数表示)                                        | 全出現種数/200種    | 1.64 | 多様性指数b | 6 | a+b    |
| 在来評価は全部在来種なら100%となる。植物種多様性評価が1.01以上の場合、多様性指数は上限を6とする。 |               |      |        |   | 9      |

★国絶滅危惧であっても埼玉植栽とするもの、シラン、ハクチョウゲ、ヤマトレンギョウ、タイワンホトギス、ニッケイ、ウスギモクセイ

(報告 自然環境部会 賀登環)



## (2) 池辺公園の調査・保全活動

池辺公園は入間川流域、八瀬大橋の近くにあり、面積 1.3ha の小さな雑木林です。その昔、くぬぎ山がダイオキシンの問題で全国的にニュースになっていた頃、その産廃が一部八瀬大橋河畔に運びこまれていたという情報もありました。今でも一部ゴミ山が残っています。

このような背景の中で平成 20 年に川越市により公園化されました。埼玉県生態系保護協会による平成 19 年の基本調査でキツネノカミソリ、ハグロソウなどの絶滅危惧種があることが分かり、開園当初からこれらを保護育成するために自然環境部会が協力することになり、今日に至っています。

また、造園業者の方が草刈り作業時にアズマイチゲの生息を発見され、川越ではこれまで確認がなく珍しい種です。合わせて保護することになりました。そのアズマイチゲは気難しくなかなか花を付けませんでした。この 10 年間、多い時で 30 花ほどでしたが、2021 年の春にはナント、一気に 300 以上の開花でした。これまで他市の生息地の調査などして開花の少ない原因を探ってきましたが、分からずじまいでした。なぜ、ここでこのように多く開花したのか、例えば十分に葉が広がり栄養を蓄え、開花期が巡ってきたとも考えられます。次年度にどうなるか、気になるところでしたが、残念ながら 2022 年の開花数は寂しい限りでした。しかし、翌 2023 年は多くの開花がありました。

この林はずっと昔は入間川の氾濫があったと思われます。今でも水を好む植生が見られ、エノキ、イボタノキなどが多くあります。福原地区の乾燥気味の雑木林には見られない植生です。また、ニセアカシア（ハリエンジュ）が道路沿いに多いのも特徴です。5 月下旬からの開花期は、いい香りが漂います。

自然環境部会では毎月第 2 火曜日を定例の活動日とし、10 人前後で調査保全活動을続けてきました。植物データは 200 種ほどです。他では見られない希少種もあり大切にしたい場所です。池辺公園周辺はモトクロスや



マメ科植物 クララ

サバイバルゲーム場、サッカーコートなどに利用されおり、採石場へのダンプの出入りも多くかなり埃っぽく、荒れた雰囲気です。さらに一時は不法土砂堆積もありました。このような中で池辺公園はオアシスのような場所です。最近では散策に訪れる方も多くなりました。

2022 年 6 月にひょっこりと写真の植物「クララ」が斜面に育っていました。川越では、ほぼ見なくなったもので、オオルリシジミの食草です。大切に見守っていききたいと思います。

(報告 賀登環)



植物調査の様子

|          | 2019年 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|----------|-------|------|------|------|------|
| アズマイチゲ   | 10    | 30   | 300  | 10   | 272  |
| キツネノカミソリ |       | 302  | 468  | 332  | 331  |
| ウバユリ     | 44    | 32   | 78   | 84   | 未確認  |

アズマイチゲなど希少種の経年開花数



アズマイチゲ 2023 年には多くの花が咲いた



活動メンバー

## 池辺公園の植物種 2020 年～2023 年の調査

ピンクの網掛け：RD 種

薄黄色：川越では少ない種

|    |            |     |            |     |          |     |           |
|----|------------|-----|------------|-----|----------|-----|-----------|
| 1  | アオイスミレ     | 61  | キチジョウソウ    | 121 | ツメクサ     | 181 | ホタルブクロ    |
| 2  | アオカモジグサ    | 62  | キツタ        | 122 | ツユクサ     | 182 | ホトケノザ     |
| 3  | アオカラムシ     | 63  | キツネアザミ     | 123 | ツルウメモドキ  | 183 | マグワ       |
| 4  | アオキ        | 64  | キツネガヤ      | 124 | ツルニチニチソウ | 184 | マスクサ      |
| 5  | アオスゲ       | 65  | キツネノカミソリ   | 125 | ツルボ      | 185 | ママコノシリヌグイ |
| 6  | アオツツラフジ    | 66  | キツネノマゴ     | 126 | トウバナ     | 186 | マメグンバイナズナ |
| 7  | アオハダ       | 67  | ギボウシ       | 127 | トキワハゼ    | 187 | マユミ       |
| 8  | アカネ        | 68  | キュウリグサ     | 128 | ドクダミ     | 188 | マルバルコウソウ  |
| 9  | アキカラマツ     | 69  | キランソウ      | 129 | トボシガラ    | 189 | ミズヒキ      |
| 10 | アキノタムラソウ   | 70  | キンミズヒキ     | 130 | ナズナ      | 190 | ミゾイチゴツナギ  |
| 11 | アキノノゲシ     | 71  | クコ         | 131 | ナヨクサフジ   | 191 | ミチタネツケバナ  |
| 12 | アケビ        | 72  | クサイチゴ      | 132 | ナワシロイチゴ  | 192 | ミツバウツギ    |
| 13 | アズマイチゲ     | 73  | クサノオウ      | 133 | ナンテンハギ   | 193 | ミドリハコベ    |
| 14 | アズマネザサ     | 74  | クサボケ       | 134 | ニガキ      | 194 | ムクノキ      |
| 15 | アマチャヅル     | 75  | クズ         | 135 | ニガクサ     | 195 | ムラサキカタバミ  |
| 16 | アマナ        | 76  | クヌギ        | 136 | ニガナ      | 196 | ムラサキケマン   |
| 17 | アメリカフウロ    | 77  | クララ        | 137 | ニシキギ     | 197 | ムラサキサギゴケ  |
| 18 | イ（イグサ）     | 78  | コオニタビラコ    | 138 | ニセアカシア   | 198 | ムラサキツメクサ  |
| 19 | イタドリ       | 79  | コオニユリ      | 139 | ニワトコ     | 199 | メヒシバ      |
| 20 | イヌシダ       | 80  | コスミレ       | 140 | ヌカキビ     | 200 | メマツヨイグサ   |
| 21 | イヌタデ       | 81  | コセンダングサ    | 141 | ヌスビトハギ   | 201 | ヤエムグラ     |
| 22 | イヌムギ       | 82  | コナスビ       | 142 | ネコハギ     | 202 | ヤブガラシ     |
| 23 | イヌワラビ      | 83  | コナラ        | 143 | ネジバナ     | 203 | ヤブカンゾウ    |
| 24 | イノコズチ      | 84  | コバギボウシ     | 144 | ネズミムギ    | 204 | ヤブジラミ     |
| 25 | イノコヅチ      | 85  | コハコベ       | 145 | ノイバラ     | 205 | ヤブスゲ      |
| 26 | イボタノキ      | 86  | コマユミ       | 146 | ノカンゾウ    | 206 | ヤブタビラコ    |
| 27 | ウシハコベ      | 87  | コメツブツメクサ   | 147 | ノキシノブ    | 207 | ヤブニンジン    |
| 28 | ウバユリ       | 88  | ササガヤ       | 148 | ノゲシ      | 208 | ヤブヘビイチゴ   |
| 29 | ウワミズザクラ    | 89  | サンショウ      | 149 | ノゲヌカスゲ   | 209 | ヤブミョウガ    |
| 30 | エナシヒゴクサ    | 90  | シオデ        | 150 | ノビル      | 210 | ヤブラン      |
| 31 | エノキ        | 91  | ジシバリ       | 151 | ノブドウ     | 211 | ヤマウコギ     |
| 32 | オオイトスゲ     | 92  | ジャノヒゲ      | 152 | ノボロギク    | 212 | ヤマコウバシ    |
| 33 | オオイヌノフグリ   | 93  | ショカツサイ     | 153 | ノミノツツリ   | 213 | ヤマノイモ     |
| 34 | オオジシバリ     | 94  | シラカシ       | 154 | ノミノフスマ   | 214 | ヤマブキ      |
| 35 | オオスズメノカタビラ | 95  | シロイトスゲ     | 155 | ハエドクソウ   | 215 | ヤワラスゲ     |
| 36 | オオバコ       | 96  | シロツメクサ     | 156 | ハキダメギク   | 216 | ユウゲショウ    |
| 37 | オオバジャノヒゲ   | 97  | シロツメグサ     | 157 | ハグロソウ    | 217 | ヨウシュヤマゴボウ |
| 38 | オオブタクサ     | 98  | スイカズラ      | 158 | ハコベ      | 218 | ヨメナ       |
| 39 | オッタチカタバミ   | 99  | スイバ        | 159 | ハナダイコン   | 219 | ヨモギ       |
| 40 | オニスゲ       | 100 | スギナ        | 160 | ハナニラ     | 220 | ワルナスビ     |
| 41 | オニタビラコ     | 101 | ススキ        | 161 | ハルジオン    |     |           |
| 42 | オニトコロ      | 102 | スズメノエンドウ   | 162 | ハルノゲシ    |     |           |
| 43 | オニドコロ      | 103 | スズメノカタビラ   | 163 | ヒカゲスゲ    |     |           |
| 44 | オニノゲシ      | 104 | スズメノテッポウ   | 164 | ヒガンバナ    |     |           |
| 45 | オニノヤガラ     | 105 | スズメノヤリ     | 165 | ヒゴクサ     |     |           |
| 46 | オニユリ       | 106 | スミレ        | 166 | ヒサカキ     |     |           |
| 47 | オヘビイチゴ     | 107 | セイタカアワダチソウ | 167 | ヒメオドリコソウ |     |           |
| 48 | オヤブジラミ     | 108 | セイヨウカラシナ   | 168 | ヒメカンスゲ   |     |           |
| 49 | オランダミミナグサ  | 109 | セイヨウタンポポ   | 169 | ヒメコウゾ    |     |           |
| 50 | カキドオシ      | 110 | セリバヒエンソウ   | 170 | ヒメジョオン   |     |           |
| 51 | カスマグサ      | 111 | センニンソウ     | 171 | ヒメトコロ    |     |           |
| 52 | カタバミ       | 112 | タケニグサ      | 172 | ヒメムカシヨモギ |     |           |
| 53 | ガマズミ       | 113 | タチイヌノフグリ   | 173 | ヒメヤブラン   |     |           |
| 54 | カマツカ       | 114 | タチツボスミレ    | 174 | ヒヨドリジョウゴ |     |           |
| 55 | カラスウリ      | 115 | タネツケバナ     | 175 | ヒルガオ     |     |           |
| 56 | カラスノエンドウ   | 116 | ダンドボロギク    | 176 | ブタクサ     |     |           |
| 57 | カラムシ       | 117 | ナカヤ        | 177 | ヘクソカズラ   |     |           |
| 58 | カントウタンポポ   | 118 | チヂミザサ      | 178 | ヘビイチゴ    |     |           |
| 59 | キウリグサ      | 119 | チャ         | 179 | ヘラオオバコ   |     |           |
| 60 | アオイスミレ     | 120 | キチジョウソウ    | 180 | ツメクサ     |     |           |



## 2. 観察会・イベントなどの報告

### (1)「社寺林の観察会」

日時：2023年6月17日(土) 9:30～12:00

参加者：21名 講師：稗島英憲氏、山中和郎氏

喜多院、中院は寺院として古刹で由緒ある立派なものですが、樹木など自然に目を向けると、また素晴らしいものがあります。喜多院には歴史を彷彿とさせる樹木があり、中院は「花の寺」といわれるほど多様な花木があります。当日は二つのグループに分かれ、Aグループは喜多院から出発です。ここで有名な木は天海僧正お手植えといわれるコウヤマキでしょうか。樹齢は300年を越えます。川越では珍しいと言われるアカガシが数本、準絶滅危惧（NT）で、樹木のRD種は川越ではとても少ないです。

社寺林には仏教に縁のある木、例えばボダイジュ、シキミ等もありますが、ケヤキ、クスノキ、アラカシ、スダジイ等古くから生育してきた大径木もあります。森林性や樹洞を利用するチョウゲンボウ、アオバズクなども生息しており、改めて喜多院の「鎮守の森」のすばらしさを認識しました。

次は中院です。赤松の変異種である多行松のユニークな樹形と磨かれた幹の赤さに感心しながら歩を進めると、足元に黄色い絨毯が広がります。見上げてみると楽しみにしていたモクゲンジの花が、樹木全体を覆うように咲き、梅雨空の下ひとときわ黄色く鮮やかです。この観察会を6月に行うのは、モクゲンジの鮮やかな花を見ていただきたいためです。秋には黒い実ができて数珠に使われるそうで、お寺によく植えてある理由かもしれません。



中院 モクゲンジの花を見上げ



喜多院 アカガシの丁寧な説明

### (2)「キノコの観察会」

日時：2023年7月9日(日) 9:30～12:00

講師：稗島英憲氏、高杉茂氏

場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地

参加者：23名、スタッフ5名

「キノコの観察会」は2008年9月21日に第1回が始まりましたので、今年で15回目になります。2010年からは6、7月の梅雨期に開催するようになりました。10回ほど経た2018年にはこれまでの記録を基に「川越のきのこ」の冊子を発行しました。

今年は梅雨期の雨があまりなく、水分の欲しいキノコは大変です。下見に行ってもキノコはほとんど出ていません。当日は親子連れの参加が多く、小さなお子さんも皆で目を皿のようにして探しました。そうすると少しずつ草の下から見付き始めます。チチタケはきずをつける

と乳液が出てきます。「いい匂い、きのこの匂いがする」と見つけた方、これが旨みの成分です。

この林もナラ枯れ被害が進み、茶色の葉になったコナラが結構あります。参加者から「カエンダケは出ていますか？」と質問がありましたが、今の所報告は一件もありません。チリメンタケが、枯れた切り株に群生しています。弱った樹木にキノコが付き、木を徐々に分解していきやがて自然に還します。このようなキノコは腐生菌と呼ばれ、自然界で最終分解者の役目をしています。

ひとしきり、森の中でキノコ探しをして、室内に持ち帰り鑑定です。思いのほか多く集まり40種ほどでした。興味津々の「万太郎少年」のような小学生が講師に次々と質問し、参加者とともにキノコについて理解を深めました。自然界には不思議がいっぱいです。この日はキノコだけでなく植物や虫たちとの出会いもありました。



このキノコ、何ですか？



今日見つけたキノ

### (3)「虫の観察会」

日時：2023年8月5日(土)9:30～12:00

場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地

参加者：応募参加者15名、スタッフ8名

講師：佐々木英世氏(埼玉昆虫談話会)

今年の夏は例年にも増して「異常」が際立っていました。7月に入ってから晴天続きで猛暑日の連続。「虫の観察会」当日も暑く、福島では今季最高の40度がでました。このような中での開催でしたが、応募した方が全員出席されました。最初に草原でバッタの仲間をたくさん見つけました。トノサマバッタ、ショウリョウバッタはもう、5cm越えの大きなサイズになっています。その中で2cmくらいの小さなヒナバッタがたくさんいましたが、これは埼玉県準絶滅危惧種です。

次いで、林の中に入るとちょっと気温が下がります。樹林の中では甲虫の仲間が見つかります。カブトやクワガタの頭だけになったのがたくさん残されています。どうやらカラスの仕業らしいです。「ぼく、カブトムシ取りに来たんだ。」という男の子はちょっと残念そう。「朝早く来ると取れるよ。」と講師の佐々木さん。女の子がウスバカミキリを捕まえ、この日一番大きな昆虫です。

ちびっ子たちも虫を捕まえては講師、スタッフに問いかけ、親御さんたちも積極的に参加されて、集中力の切れない観察会でした。この日、観察した種は甲虫、カメムシ、チョウ、バッタ、トンボ、ハチ その他クモ類、トカゲの類など40種ほどでした。埃が舞い上がるほど乾燥していて、昨年よりは少なめでした。





ナラ枯れの実態を見る



土の中にいた虫を調べる

#### (4) 田んぼの生き物調査 7月1日(土)

かわごえ環境ネットと「かわごえ里山イニシアチブ」との共催。田んぼや用水路で魚、エビ、クモ、トンボなど見つけ。いきもの指標はこれまでで最高点でした。



#### (5) 小畔川魚とり遊び 9月23日(土)



かわごえ環境ネットと「小畔川の自然を考える会」との共催。川に入って魚、エビなどたくさん捕れました。オオクチバスもかかり、外来種、生態系などの話題もありました。



#### (6) 水上公園生き物観察会 9月30日(土)



かわごえ環境ネットと市・環境政策課との共催。ちびっ子たちが虫を追いかけて、捕まえて講師の先生に教えてもらいました。



### (7)「古谷湿地魚観察会」

日時：2023年10月21日(土)9:30～12:00

このイベントは環境政策課主催で、協力は自然環境部会と「小畔川の自然を考える会」です。10年以上前から行われていますが悪天候や、増水などでよく中止になっています。今年は天気も良く穏やかな日よりで、親子6名と地元の方々の参加でした。

一昨年から市の方で子ども用のウェダーを準備し、お子さんも中に入って、夢中で魚取りをしていました。ヌカエビ、スジエビ、オイカワ、タイリクバラタナゴなどが多く捕れましたが、珍しいものでは「ギギ」が捕れました。これまでの魚類調査では出現していないもので、どちらかというと清流の指標になっています。部屋に戻って採捕した魚類を皆で観察しました。



ガサガサをするといろいろな魚が入る



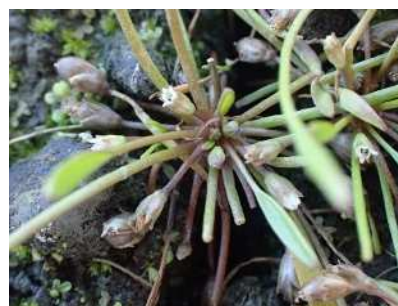
ギギ ナマズ目ギギ科ギバチ属



採捕した魚類を観察

### (8)「キタミソウ観察会」11月5日(日)

キタミソウは川越で偶然確認されましたが、とても貴重な植物です。「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」に指定されている22種の中の一つです。この観察会は埼玉県生態系保護協会川越坂戸鶴ヶ島支部との共催です。



### (9)「森フェス in 川越」11月18日(土)



詳しい記事は全体事業の項をご覧ください。  
アクティビティーで作ったブンブンゴマで遊びながらバイオリン演奏を聞く子供たち。

(報告 自然環境部会 賀登環)

### 3. 調査活動の報告

川越には昔、といってもせいぜい戦前の頃、ホテルがあちこちいた、ムサシトミヨもいたなどの話を古老から聞くことができますが、記録としては確認できるものはありません。戦後急速に多くの生き物が絶滅していきましたが、何がいて何が絶滅したかということがわかりません。かわごえ環境ネットは現時点での生き物の記録を残し、希少種の保護のために調査活動をしています。

#### (1) 「生き物調査の報告」発行

川越市環境基本計画・緑の基本計画において、野生生物の分布・生態等に関する調査・研究が位置づけられていて、市は 2017 年から「かわごえ生き物調査」の施策を開始しました。かわごえ環境ネットはそれ以前から生き物調査を実施していて、その後全面的に協力していきました。市が募集した市民調査員の方、環境ネット会員が精力的に調査し、2017 年から 2021 年までの 5 年間で延べ 2 万件にのぼるデータが集積されました。これらを環境ネット生き物小委員会で統計分析をしました。植物 834 種、鳥類 126 種、昆虫 366 種、クモ 33 種などの生息がメッシュコード別に分析できました。

これらの貴重なデータを写真のような冊子にまとめました。A4 版、オールカラー、46 ページの体裁。400 部の出版で環境ネットの費用で賄いました。現在は残部が無く図書館などでご覧ください。



#### (2) 今年 2023 年実施した生き物調査

これまでの調査結果を分析し、空白に近いメッシュコードの再調査、安比奈親水公園など複数のメッシュコードに渡る場所の精査。また、昆虫の確認数が少ないので、専門家に講師として同行をお願いしたり、標本の鑑定を依頼するなど力を入れた。

##### ① 池辺公園 4月11日(火) 定例活動 10名

メッシュコード(MC) 5339-6385

植物 104 種 (アズマイチゲ、アオイスミレ、クララ・・・)

鳥類 15 種 その他 6 種



##### ② 池辺公園 5月9日(火) 定例活動 9名 MC 5339-6385

植物 ①にプラス 31 種

##### ③ 池辺公園周辺八瀬大橋 6月13日(火) 定例活動 8名

MC 5339-6385

植物 51 種 外来種が多い クズが河畔林を覆っている

トラフシジミが草陰に一頭



##### ④ 水上公園 5月13日(火) 4名 MC 5339-6396

植物 167 種 (ウマノスズクサ、オドリコソウ、ハグロソウ、



ジャヤナギ) 鳥類 10 種 昆虫 6 種

- ⑤ 九十川沿い (起点～二枚橋) 6 月 24 日(土) 9 名参加 MC 5339-7400, 5339-7401  
植物 101 種 (ワレモコウ、外来種多い) 鳥類 13 種 昆虫 10 種 その他 (クモ 3 種、シ  
ジミ、ニホンアマガエルなど)

- ⑥ 「(仮称) 川越市森林公園」計画地 6 月 26 日(月) 定例活動 19 名参加 昆虫調査  
講師: 佐々木英世氏 昆虫: 37 種



エダナナフシ

- ⑦ 安比奈親水公園 7 月 7 日(水) 9 名参加  
MC 5339-6383 5339-6384

植物 131 種 昆虫 35 種 その他ニホンアカガエル →



- ⑧ 増形運動公園周辺入間川沿い 7 月 20 日(木)  
5 名参加 MC 5339-6374

植物 74 種 昆虫 37 種 野鳥 9 その他クモ 3 種 →



- ⑨ 安比奈親水公園 9 月 15 日(金)  
5 名参加 MC 5339-6373

植物 108 種 昆虫 15 種 野鳥 6 種

- ⑩ 「(仮称) 川越市森林公園」計画地 9 月 25 日(月) 定例活動 17 名参加 昆虫調査  
講師: 佐々木英世氏 昆虫: 37 種

- ⑪ 池辺公園対岸 入間川左岸 9 月 12 日(火) 定例活動 9 名 MC 5339-6384  
植物 71 種 (コマツナギ群落) 昆虫 15 種 野鳥 6 種



コマツナギ

以上の調査以外  
にもグループや  
個人で多くの報  
告が集められま  
した

(報告 自然環境部会 賀登環)



## 8 エコアクション21の取得推進

「エコアクション21」は、環境省が策定した環境経営の認証・登録制度です。環境に配慮した経営に取り組む企業に対し「認証」を与えるとともに、環境への取組強化を通じて、コスト削減、業務改善、従業員の意識改革、組織の活性化など経営力の持続的な向上を支援する「企業価値向上ツール」としても位置付けられています。

川越市では、「第三次川越市地球温暖化対策実行(区域施策編)」において、事業所における温室効果ガス排出削減に向けた施策として、環境経営の普及促進を掲げており、その一環として「エコアクション21」の取組を推進しています。

市では、平成21年度からエコアクション21の認証取得を支援する研修会を開催しており、令和5年度までに、20事業者がこの研修会を通して認証を取得しました。



▲エコアクション21ロゴマーク



研修会の様子

## 9 川越環境保全連絡協議会の令和5年度事業報告

### I. 環境保全に関する事業実施

#### 1. 県外環境保全対策先進企業視察研修会

日 時 2023年6月16日(金)・17日(土)

視察先 積水ハウス株式会社

内 容 ①エコファーストパーク

- ・温暖化防止、生態系保全、資源循環という三つの環境テーマの取組みが体験できる施設であり、ゼロエミッションパーク、資源循環センターを見学
- ・資源循環センターでは、新築施工現場で27種類に分別した廃棄物を、センター内でさらに80品目に分別して、自社または業者に委託して100%のリサイクルを行っている。

②Tomorrow Life Museum

- ・積水ハウスがプロデュースする明日の暮らしを家族で体験できる住宅展示施設を見学
- ・完成した家ではなかなか見られない、住宅内部の仕組みや最新技術を見学

参加者 18名

## 2. 2023 環境小江戸塾

日 時 2023 年 8 月 31 日（水） 午後 1 時 50 分

場 所 ウェスタ川越 活動室 1・2

参加者 37 名

### 【第一部】

①演 題 カーボンニュートラルサポートセミナー

講 師 MS & AD インターリスク総研株式会社  
リスクマネジメント第一部リスクエンジニアリング部  
嶺 隆太郎 氏

②演 題 SDGs 取り組み支援について

講 師 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
埼玉西北支店 地域戦略室 トレーニングセンター長  
鈴木 元司 氏

### 【第二部】SDGs の取り組み事例発表

①株式会社関東建設 川越アスコン工場

発表者：河原 誠一 氏

②株式会社山一商事

発表者：米山 雄司 氏

## 3. 県内事業所視察研修会

日 時 2023 年 9 月 28 日（木）

視察先 株式会社シーエスラボ 館林本工場

内 容 SDGs に向けた取組

①環境への配慮

②農福連携の推進

③地域名産品を使用した化粧品の開発

④地域貢献

⑤その他

・厚労省の「もにす認定」

・「学生が認定するSDGs 社長賞」を受賞

・群馬県の実業家団体「Find LAND」の第 1 号認定

参加者 12 名

## 4. 2023 かわごえ産業フェスタ

日 時 2023 年 11 月 11 日（土）・12 日（日）

場 所 ウェスタ川越 多目的ホール

入場者数 2 日間 14,000 人

展示内容 ・川越環境保全連絡協議会会員企業パネル 1 枚

・会員企業の環境への取り組みに関するパネル 4 社

・2023 年環境経営SDGs セミナー取組事例紹介 1 枚

- 展示物他 ・武州ガス(株) (ガス管の経年劣化→現況配管材)
- ・新報国マテリアル(株) (低熱膨張合金が使用される人工衛星と望遠鏡の模型と耐腐食合金比較紹介)
  - ・(株)奥井組 (ロケット模型・断熱塗料説明模型)
  - ・パイオニア(株) (スマートフォンで手軽に利用できるカーナビアプリ)
  - ・各企業のカatalog及びCSR報告書等の配布
  - ・アンケート調査 200 名 (回答された方に粗品配布)
  - ・ロケット模型と一緒に写真撮影と将来の夢を書く (粗品プレゼント)

## 5. 50周年記念事業

日 時 2023 年 12 月 14 日 (木) 午後 2 時

場 所 ラ・ボア・ラクテ

【第一部】式典

【第二部】基調講演会

演 題 天気の達人から見た地球温暖化

講 師 気象予報士 天達 武史 氏

【第三部】記念祝賀会

ゲスト DeLo (シンガー)

【制作物】・あゆみ ・万年カレンダー

【川越市寄贈】はしらベンチ 2 台 (まつり会館)

## 6. 2024 新春講演会

日 時 2024 年 2 月 16 日 (金) 午後 2 時 20 分

場 所 ウェスタ川越 活動室 1

参加者 19 名

【第一部】

演 題 埼玉の魅力って何だろう？

～講座を通して埼玉の魅力を発見～

講 師 埼玉県県民生活部県民広聴課

魅力発信担当 倉林 雅人 氏

【第二部】

演 題 災害への取組

講 師 国土交通省関東地方整備局災害室

課長補佐 鳥居 隆之 氏

## II. 諸会議

### 1. 定期総会

日 時 2023 年 5 月 26 日 (金) 午後 4 時

場 所 ラ・ボア・ラクテ



出席数 出席会員 33 名・委任状出席 33 名 計 66 名  
議 事 ・ 2022 年度事業報告並びに収支決算承認の件 会計監査報告  
・ 会則承認変更の件  
・ 役員改選について  
・ 2023 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

## 2. 理 事 会

日 時 2023 年 4 月 21 日（金） 午後 3 時  
場 所 川越商工会議所 会議室  
議 事 ・ 定期総会について  
・ 県外視察研修会について  
・ 50 周年記念事業について

日 時 2023 年 7 月 7 日（金） 午後 3 時  
場 所 川越商工会議所 会議室  
議 事 ・ 県外視察研修会反省会について  
・ 県内視察研修会について  
・ 環境小江戸塾について

日 時 2023 年 8 月 4 日（金） 午後 3 時  
場 所 川越商工会議所 会議室  
議 事 ・ 環境小江戸塾の反省会について  
・ 県内視察研修会について  
・ アースデイイン川越について  
・ かわごえ産業フェスタについて

日 時 2023 年 9 月 8 日（金） 午後 3 時  
※台風の影響により中止

日 時 2023 年 10 月 20 日（金） 午後 3 時  
場 所 川越商工会議所 会議室  
議 事 ・ 環境小江戸塾反省会について  
・ 県内視察研修会進捗状況について  
・ かわごえ産業フェスタについて  
・ 50 周年記念事業について

日 時 2024 年 1 月 19 日（金） 午後 3 時  
場 所 川越商工会議所 会議室  
議 事 ・ 50 周年記念事業の反省会について  
・ かわごえ産業フェスタ反省会について

- ・新春講演会について
- ・定期総会について
- ・会長表彰について

日 時 2024 年 3 月 8 日（金） 午後 3 時

場 所 川越商工会議所 会議室

- 議 事
- ・新春講演会反省会について
  - ・来期各事業計画について
  - ・2024 年度定期総会について
  - ・2024 年度埼玉県環境保全連絡協議会総会について
  - ・ホームページについて

### 3. 小 委 員 会

#### ○総務広報小委員会

日 時 2023 年 4 月 2 1 日（金） 午後 1 時

日 時 2024 年 1 月 1 9 日（金） 午後 2 時

日 時 2024 年 3 月 8 日（金） 午後 2 時

#### ○50周年記念事業小委員会

日 時 2023 年 4 月 2 1 日（金） 午後 2 時 1 5 分

日 時 2023 年 7 月 7 日（金） 午後 2 時

日 時 2023 年 8 月 4 日（金） 午後 2 時

日 時 2023 年 1 0 月 2 0 日（金） 午後 2 時

## Ⅲ. 環境保全に関する資料の収集及び提供について

1. 埼玉県環境部環境政策課発行の埼玉県環境白書の配布
2. 埼玉県環境検査研究協会の環境ニュースの配布
3. 広報かわごえ環境ネット配布

## Ⅳ. 埼玉県環境保全連絡協議会関係

### 1. 通 常 総 会

日 時 2023 年 5 月 1 8 日（木）

場 所 パレスホテル大宮

- 議 事
- ・2022 年度事業報告及び決算について
  - ・2023 年度事業計画（案）及び予算（案）について
  - ・環境保全功労者及び環境保全優良事業所表彰式  
【表彰対象事業所】エムエス観光バス株式会社

## 2. 理 事 会

日 時 2024 年 2 月 1 6 日（金）

開催方法 書面会議

議 事 ・ 環境保全功労者（環境保全優良事業者）表彰の推薦について

日 時 2024 年 3 月 2 5 日（月）

開催方法 W E B 会議

議 事 ①第 4 5 回総会に向けて

1) 2023 年度事業報告及び決算について

2) 2024 年度事業計画案及び予算案について

②環境保全功労者及び環境保全優良事業者の表彰について

## 3. 視察研修会

日 時 2023 年 9 月 1 2 日（火）

場 所 富士電機機器制御(株)吹上工場

出 席 3 8 名

内 容 省エネルギーに関する先進的な取組について

## 4. 環境保全懇談会・環境行政意見交換会

日 時 2024 年 3 月 5 日（火）

場 所 埼玉会館 6 B 会議室

出 席 会員 1 1 名、行政 8 名

内 容 ・ 埼玉県カーボンニュートラルの取組について

・ 埼玉県のサーキュラーエコノミーの取組について

・ 異常水質事故の未然防止について

・ 低濃度 P C B 廃棄物の処分期限について

・ 化学物質排出把握管理促進法について

・ フロン排出制御法について